陸軍記念日

京城日報 朝刊

發行所 京城府太平通一丁目三十一番地 合資會社 京城日報社

傳統に輝く陸軍魂

敵の飛行基地を爆破

死地に重責果す五人の斥候兵

ガダルカナル島の中澤挺身隊生還記

【東京電話】ソロモン群島ガダルカナル島に挺進せるわが前衛部隊の眞に神の如き死闘の状況はしばしば報ぜられ、國民感激の焦點となつてゐるが、大東亞戰下再び陸軍記念日を迎へ『撃ちてし止まむ』戰意に一億國民が燃え上つてゐる時、南太平洋戰線に從軍中の森川陸軍報道班員からガダルカナル島に於る中澤工兵挺身隊の生々しい決死の戰闘記が送られて來た、中澤勳少尉（靜岡縣出身）以下五名の工兵挺身隊が敵彈下ジャングルを拔け闇と豪雨を衝き歩哨の目を潜りながら遂に敵の飛行基地に潜入、飛行機、探照燈及びガソリンタンクを爆破して全員生還した壯烈無比な行動が詳細に報ぜられてゐるが、生死を顧みず攻撃精神に燃え、しかも豪膽の反面沈着にして周到な用意を忘れず重大任務を完遂した五人の挺身隊の行動は日本武士道の華としてわれらを感動せしめずにはおかない、敵中に在つて友軍の空襲に遭遇、敵兵の捨てた煙草を吸ひながら敵兵にまじつて友軍機を眺めたなど眞に敵の眞つ只中に潜入した大膽極まる行動は旺盛な責任感によつてはじめてなし得るところで、全篇これ悉く皇國軍人精神の發露として強く胸を打つものがある

【南太平洋基地にて森川陸軍報道班員發】『岸隊、中澤少尉以下五名はルンガ河西方にある敵飛行場の航空施設を奇襲破壞すべし』『奈良隊、寺澤少尉以下五名はトラ高地の砲兵陣地を奇襲破壞すべし』昭和十七年十二月一日この命令をうけた兩少尉は男兒の本懐、帝國軍人最上の名譽と感激の涙にひたつた、思へばわが軍がガダルカナル島上陸以來米國はこゝに全主力を注ぎ有り餘る機械力を總動員して我に向つた、わが將兵は驚くほど暗きジャングル地帶で蔭濕の地を征き糧食缺乏を克服し、あらゆる困苦と闘ひつゝ攻撃に續く攻撃、前進また前進、米軍殲滅せずんばやまずと力戰奮闘した

然しガ島は敵の航空勢力下にある、暴虐極まる敵は同島にある航空基地を利用し、われの強襲猛撃の輸送を妨げるとともにジャングル内を進撃するわが軍に晝夜を分かぬ猛烈なる盲爆を浴びせかけ、海上からは驅逐艦、巡洋艦、驅潜艇によつてジャングル目掛けて艦砲射撃を繼行した、前面敵の陣地からは間斷なく砲彈を叩き込み、ジャングル内は砲煙彈雨の有樣であつたが、わが軍は一歩も退かず豪雨の中からジッと睨んでゐた

血沸き肉躍る斥候命令下る

糧秣は次第に缺乏し一日僅かに一合足らずといふ狀態で、時には三日も四日も一合の米さへ渡らぬことさへあつた、兵隊たちは木の芽をとり草の根を掘つて食糧にあてゝゐるが、遂には得ならざる草木はすべて食糧として喰ひ續けるといふ有樣になつた、『一日も早くアメリカ軍を片づけしから撃滅してしまへ』『大砲を片づけしから撃滅してしまへ』と全軍將兵は『敵の飛行機をやつつけろ』と齒を喰ひしばつてゐる時に兩少尉はこの命令をうけたのである

至難且重大なる任務であるとゝもに痛快この上もない仕事だ、この任務遂行によつて敵の心膽を寒からしめ敵の攻撃力を破碎し味方の作戰を有利に導き兵隊たちの溜飲を下げることになるのである、〇隊はわが事のやうに喜び、まづ身體を鍛へよと全員一合足らずの米をわかつ出し合つて定額の六合宛を與へて激勵した『〇隊の名譽のため、また戰友の厚意に報ゆるためにもきつと決行します』と涙を流して誓つたのである、翌二日中澤、寺澤兩少尉は岸隊長と奈良隊長に伴はれ兵團長に申告した『シッカリ頼むぞ』〇〇兵團長閣下は二人を自室に伴ひ恩賜の酒と恩賜の煙草二本を與へられた『閣下必ず、必ず…』二人の眼は濡れ唇のあたりは感激にふるへてゐた、二組の挺身隊のうちまづ中澤挺身隊を紹介し、寺澤挺身隊は章を改めることにする、中澤少尉に從ふ部下四名は中隊でも優秀なる下士官兵を岸〇隊長自ら指名した、隊長以下左の通りである

中澤挺身隊長陸軍少尉 中澤勳（靜岡縣引佐郡三ケ日町出身）

伍長 湯淺忠行（愛知縣丹羽郡丹陽村出身）

兵長 筒井金市（愛知縣幡豆郡寺津町出身）

兵長 村上政明（愛知縣碧海郡六ツ美村出身）

上等兵 高木清隆（愛知縣丹羽郡栄田村出身）

服裝は軍衣、軍袴、巻脚絆（第一線からは地下足袋）、携帶品は乾パン十日分、米三日分、〇〇キロ爆藥各人〇〇個、〇〇グラム黄色藥各人〇〇個、鐵條鋏二、磁石各人一個、手榴彈各人〇個その他ジャングルを切り拓く鉈、鋸それに手袋、常備藥などで隊長はじめ戰友達は何くれとなく心付けた

遙か宮城を拜し聖壽の萬歳

三日の朝二組の挺身隊は部隊全員に送られて出發した、岩淵部隊長と岸隊長、渡邊中尉は前線まで見送るといつて來た、その夜は伊東部隊で敵情を聞き、四日は同部隊長より詳細な地形を聞き前線最右翼にある稻垣部隊へ泊つた、この重大任務を果す爲には綿密な計畫を樹てなければならない、ちやうど稻垣部隊の第一展望點からはルンガ河地帶は一望の下に見える、五日は敵の飛行場へ入りこむ道筋、目標とする草原地帶などをしつかと頭の中へ叩き込んだ『よしツこれならやれる、必ずやれる』といふ強い必勝の確信を得た

六日五時岩淵部隊長、稻垣部隊長初め二組の挺身隊は各隊長と最後の形ばかりの酒盛を飾り色々な注意と激勵の言葉を與へられた、八時アウステン山の北なるジャングルまで送つて來た岸隊長に『隊長殿行つて參ります、敵飛行場でお待ちしてゐます』と一同最後の挨拶をした、これが中隊長との別れになるかと思ふと流石決死の一行も瞼の裏に熱を覺え、隊長の顏がぼやけてくるやうに感じた、折しも追ひついた寺澤挺身隊とともにジャングルの中を第一展望點へ向つた、十時には到着すべき豫定であつたが、わが稻垣部隊は敵と銃砲火を交へてゐたので展望點へ着いた時は既に十六時であつた『腹が空いては戰が出來ぬ、飯を食へ』『俺たちのこの命を國家に捧げる時が來たのだ、男子の本懐、帝國軍人としての本望である、みんな立派に死んでくれよ』といひながら中澤、寺澤の兩隊長は出發の時、同僚から分けて頂いた恩賜の煙草を一本宛各部下に渡した

恩賜の煙草を戴いた一同は起立して遙か宮城を伏し拜み、聖壽の萬歳を三唱し故國に最後の別れを告げた、どの顏もどの顏も眞劍に引締つてゐるが、唇のあたりはかすかに痙攣してゐた、中澤少尉はグッと生唾をのみこみ、寺澤少尉は横を向いてうつむいた『寺澤、決行は十五日前だね、成功を祈るぞ』『よし貴樣もしつかりやれツ』二人はカツきと手を握り顏を見合せてワハハと笑つた

無念、敵の斥候を見逃がす

かくて二組の挺身隊は右と左に別れ雨をついて目標點へ進んだ、十六時二十分である、中澤少尉はかねて偵察してある第一展望點である草原を目的にジャングル地帶へ飛び込み雨に叩かれながら磁石を頼りに枝を拂ひ、蔦を切つて進んだ、この闇の草原地は山岳は勿論小丘でも頂上は草原で、麓や谷間はほとんど人跡未踏のジャングル地帶である、從つて草原地帶は一部の海岸地帶を除いては全部山頂であつた、雨は降りしきる、豫定の目標である草原地帶を目の前にして大木の根元にうづくまり、一晩中雨に叩かれうつらうつらしてゐるうちに夜が明けた、未明になつて雨は小降りになり陽が射す頃はすつかり晴れ上つて雲雀は喃々しいほど囀りを含んでゐた、隊は四方八方に氣を配り目と耳を働かせながらジャングルに沿つて草原を北へ北へと進んだ、岩淵部隊や稻垣部隊の情報によればこの邊一帶に將校斥候が出沒するといふので、彼らと遭遇するのを避けるため翌朝は未明から五時まで、夕刻は十五時から行動することに決め、晝間はジャングル內に潛り、時折飛び出して敵狀や地形を偵察した

七日も暮れて四邊が夕闇に包まれる頃、草原地帶に獨立した一本の木が傘のやうに茂つてゐるのを發見した、こゝの草原はすゝきや茅萱が二メートル以上に伸びて密生し、所々に喬木なども茂つてゐた、五人は草の薮に木の根を枕として疲れた身體を横たへた、しかし目と耳は常に敏捷に活動してゐる、おぼろげな月が中天にかゝつて雲の足並が早い、少尉の耳にかすかな話聲と軍靴の音が聞えて來た、少尉は四人を起し、拳銃を握つて身體を低くし息の根を殺した、話聲は三、四人らしく、軍靴の音は次第に近づいて來る、敵の將校斥候らしい、彼らは草をかき分けながら二、三メートル先の叢を通り過ぎた『畜生』と跳ね上つて發砲しようとしたが、いや待て大事の前の小事であると重大任務を考へ齒を喰ひしばつて見逃した、八日、ネコ陣地（日本軍が名づけた敵陣地）前のジャングル內へ潛り込んだ、昨夜から今朝にかけて敵の陣地から射ち出す銃砲は猛烈で、重機射撃のその響きはジャングル地帶へ大豪雨でもやつて來たやうな音であつた『けふは敵らの陸軍記念日だつた、道理で無駄彈をばらまいてゐる』と少尉は部下を顧みてをかしさうに笑つた、敵の警戒網內に飛び込んでまる二日、いまだ敵らしい敵も見ず陣地にもつき當らぬ、岡部隊長殿や稻垣部隊長殿の賜ものだ、と感謝する反面、心はすでに落ちつき本來の大膽さがむくむくと盛り上つて來た、その日の十五時赤味を帶びた太陽の光を全身に浴び、大膽不敵にも草原地帶を眞一文字に進んだのである、『隊長殿、敵が見えます』突如叫んだ湯淺伍長の聲に五人は同時にぴつたりと地上にへばりついた

闇の中、突如敵幕舍

湯淺伍長の指す斜右手背後の草原には十數の幕舍が張られ、頂上には陣地を構築してゐるらしく、半裸の米兵たちが二、三十人働いてゐた、さすが少尉の胸もどきどきとし冷汗さへも流れてくる、九日の未明雨で全身濡れながら丈より高い雜草をかき分けシン陣地（日本軍が名づけた敵陣地）と思はれる大地へ向つた、こゝにもまた草に蔽はれてゐる美しい小川があつた、『天佑といふものだ、おれたちの行手には必ず清水がある、任務達成疑ひなしだ』天佑我に在り、必ずやれるといふ自信が誰の胸にも深く刻み込まれた

雷響とともに北へ四、五百メートルも進むとジャングルを切り開いたやうな陣地にぶつかつた『おやつ、こんなところに何んだらう』と思つた時工兵としての第六感がサツと頭の中でひらめいた、案の定敵が鐵條網を敷設してある陣地であつた、鐵條網とは手榴彈あるひは爆藥を木に結びつけそれから鐵線を低く張りめぐらし一度鐵線に觸れば忽ち五、六發の爆藥が爆發する仕掛けである『危ない危ない、迂闊に進めぬ、鐵條網地帶を仕掛けてゐる、隱密作業開始だ』少尉の命令で四名は匍匐前進し鐵條網を鉈もつて瞬く間に鐵線を切斷し通路を開いた、鮮かな動作である、しかしこんな作業は工兵としてはお手のものであつた、こゝの陣地を突破すると雜草の茂つた林となり、その先は夜目にも判るほど廣々と開けてゐた、ちやうど林の切れ目邊りに第二の鐵條網が嚴く張りめぐらされそれには見事な程空罐の鈴生りであつた、こゝの鐵條網は巾二百メートル位で鐵木を轉がし鐵線を張り無數の空罐を吊るしたものでちよつとでも觸れゝば忽ち鳴り響くといふ仕組である

それだけにさすがの工兵もこれには手を燒いた『敵の奴は贅澤だな、こんなに罐詰を食ひやがつた』湯淺伍長は一合足らずの米で一日を過してゐる戰友たちを思ひ羨ましくもあり、小にくらしくもあるやうな口ぶりでつぶやいた、しかるにこれまた天佑か、間もなく辺りは眞つ暗になり物凄い大雷雨が襲つて來た『幸先よし、この好機を逸してはならぬ』『注意しろ轉ぶなよ、大事な軍服を破くんぢやない』と少尉を先頭に續く四勇士は口々に叫びながら二百メートルの鐵條網陣地を一擧に突破した、雷鳴は物凄く大粒の雨は痛いほど全身を叩きつける、辺りは眞の闇、鼻をつままれてもわからないほどだ

夜のジャングル地帶を歩くために各自一本づつ用意してゐた板を唯一の連絡として少尉を先頭に、一歩一歩と進んだのである、だがあるものは堀に飛び込み、ある者は泥濘の中へ轉がり込んだ、闇の中に白いものがかすかに見える、不審に思つた少尉は靜かに近づいて見ると、それは襦袢、股下、寢巻などの洗濯物であつた、なほも進むと敵の幕舍に突き當つた

息の根を殺して中の樣子を窺つたが米兵たちはまだ起きてをり、闇の中でざわざわする話聲と煙草の火があかあかぴかぴかと點滅してゐた、幕舍は小さな擬態の天幕らしく二つの幕舍に三人か四人づつゐるらしく、幕舍は左右後にずらりと並んでゐた、その附近は酸敗たる香水の香が漂ひ、それに混つてコーヒーの芳しい香さへ流れてゐる『畜生、米兵め』何かしら腹立たしい感じがむかむかと湧き、今に見ろと心の中で叫んだ、再び板で連絡をとりながら電光を利用して幕舍の間を縫ひ、ある時は米兵たちの頭の前を、ある時は彼らの足元を通つてやうやく自動車道路らしい道へ出た、磁石を見るとこの道は北へ走つてゐる

附近は一面の草原地だ、また雨がしよぼしよぼ降り出して來た、敵の幕舍を右に見てさらに前進すると目の前に白く横はる河のやうなものにつき當つた、どう見ても河である、少尉は咄嗟に狐にでもつまゝれたやうな感じでしばらく考へてゐた時、左手にぽつと電燈の光が射して五人の姿は薄淡く照らされ、五人は無意識に地上へへばりつきながら見つけられたと思ひ拳銃を右手に握りしめた

遂に來た敵飛行場

入り亂れた靴音が近づいて來る、巡察將校と兵隊らしい、五人は息の根を殺してゐると彼らは五、六歩前を悠々と通り過ぎ、時々懷中電燈を明滅させて歩いてゐた、少尉は間もなく四人をその場に殘し、たゞ一人河のやうなものゝ正體を摑むために進み、河などに飛び込まぬやうに充分注意して恐る恐る手を伸ばし觸つて見た、それはコンクリートで固めた滑走路であつた『おやつさうすればこゝは飛行場かな』なんだか夢のやうな感じがする、本當に飛行場だらうか、少尉の頭にはいまだ疑問がうづまいてゐる、本當に再び觸つて見たが正しく滑走路である、びくびくすれば敵に悟られるのだ、豪膽な少尉は先刻見て來た巡察將校をまねて懷中電燈を明滅させながら悠々と滑走路へ入つた、やゝ西から東へ走りさらに北へ伸びて鮮明になつてゐる、そこには飛行機が三機あつた、鮮かにジャングルすれすれに飛び廻つて爆彈を投下する米國のマークがついた奴だ、本當に目的地へ達したのだといふわくわくする歡びが胸に込み上げて來るとともに一方敵愾心が火のやうに燃え上つて來た『こん畜生め、おれたち戰友を毎日毎夜惱まし、苦しめ、傷つけ、殺し、暴虐の限りを盡した憎い奴だ、八つ裂きにしても飽きたらぬ、今こそ思ひ知れッ、戰友の恨みだつ、呪ひだツ』少尉は憤然として手榴彈を摑んだが、待て待て部下が待つてゐる、俺たちはこんな飛行機の三機や四機をやつつけても溜飲が下らぬ、何かもつとどえらいものを見つけてと……はやる腕を押へて部下のもとへ引返した『おいツみんな、こゝが俺たちの目的地だぞ、敵の飛行場なんだ、あの白いところは滑走路で首長のやつが三機あつた、お前たちなどもあの憎い飛行機と金米鶏のマークをのぞいて來い』四人を滑走路と飛行機を見に出した後で少尉はぢつと腕を組んだ、いま少尉の頭には味方を惱まし多大の死傷者を出させた十五榴陣地（口徑十五サンチの榴彈砲陣地）がこの附近にあつたことを思ひ出したのである、爆藥を飛行機などに使ふのは勿體ない、あんなものは手榴彈で澤山だ、けふかあすのうちあの砲兵陣地を探し出し砲口に爆藥を叩き込んで破壞し戰友たちの恨みをはらさなければならない、さうしようと決心した、明くれば十一日約束でもしたやうに朝になつて雨が晴れた、だが、けふも陽の目を見ることが出來ぬやうなどんよりと曇つた日である、敵は根氣よく銃砲の無駄彈をわが軍の陣地と思はれるジャングルへばらまいてゐる、日中少尉は林の中を潛行しながら附近の地形を偵察した、なほ十五榴陣地を破壞しようと全神經を耳に集中してゐたが何故か到頭射ち出さなかつた、夜はまた一人飛行場に飛び込んで爆破すべき物件を探し求めた

知らぬが佛、敵の間拔けさ

十二日今までの雨雲は拭つたやうに飛散して珍しく南國特有のちかちかする太陽が顏を出した、いよいよ今夜決行する、十六時萬端の用意整つた五名は宮城を遙拜し、水筒の水を口づてに飲み合つて『おれたちは日本男子だ、いざといふ時にはお互に笑つて死なう』と固く誓ひ合つた、湯淺伍長、筒井兵長と高木上等兵の三名に通信線の破壞と鐵條網破壞とを命じ、少尉自身は村上兵長を伴ひ飛行場に突入し、破壞すべき物件を選定して呼び集めることを約束した、かく重い任務をもつた五名の挺身隊は廢屋の家を出發、鐵柵一番の壯途についた、すごいやうな下弦の月は西空低くかかり滿天金砂をばらまいたやうな星月夜である

村上兵長を伴つた少尉は鐵網を乘越え、先づ西から東に走る道路上の一點を第二據點と定め、そこに兵長を殘して、たゞ一人奧深く突入した、折しも敵の監視兵は機體、機材などを懷中電燈で照し點檢しながら歩いてゐた、少尉は大膽にも監視兵の直ぐ後から、やはり懷中電燈を明滅しながら飛機材料を調べて歩いた、折しも二人の米兵が大きな罐を持ち、談笑しながら少尉の前方を横切つて薄暗いところへ入つた、少尉は二人の後をつけて行く、そんなことを知らない二人は大きなガソリンタンクからガソリンを汲み出してもと來た方へ引返した、そこには實に大きなガソリンタンクが二本ある、これまた少尉が見たこともない六車輪の大自動車があつた、電燈の光で調べるとインターナショナルのマークも鮮かな新車である

さらに探照燈、飛行機と今夜の爆破すべき物件を見廻つてゐるうちに、東の幕舍近くで前と同じガソリンタンクを發見した、少尉は落ちかかる月を仰いで滿足な微笑を洩らした、二十時、月は落ちて辺りはやゝ薄暗くなり、星は數を增し一段と冴えて來た、第二據點へ戻ると村上兵長は待ちあぐんでゐた『村上、湯淺たちをこゝまで誘導して來い』と命じ再び探照燈のある箇所へ足を向けた、彼らの探照燈は日本の三倍もある大きなもので、これを完全に爆破させるためには何處へ爆藥を裝置すべきか、少尉は調べてゐたのである、大膽不敵な振舞だ、たゞ任務を完全に遂行する旺盛なる責任感と熱心にして沈着なるその動作は軍人精神の發露である、この時各幕舍にざわめきが起り、亂れる足音が各方面へ飛んだ、空襲である『惡い時に友軍機の空襲だ』とつぶやきながら探照燈の近くにぴたりと伏した、二人の米兵は探照燈の側に來て雜談しながらぷかぷかと煙草をふかしてゐる、少尉の伏せてゐるところと五メートルも離れてゐない

間もなく發電機が唸り出した『さうだ、發電機を爆破すべきだつた』と思ひついたが、今の場合身動きさへも出來ない狀態である、五、六分ののち友軍機の爆音が聞えて來た、米兵は二人三人と探照燈の下へ走つて來る、煙草を吸うて一人の米兵は煙草を拋り出し探照燈で空中を探しはじめた、友軍機が二機悠々と飛んでゐる、高射砲は火を吐いた、米兵どもは空を仰いで光芒を追つてゐる、少尉の目の前に落ちた煙草は芳しい香りを上げて食慾をそそるやうに少尉の鼻先を流れた、六日恩賜の煙草を頂いて以來僅かの煙草も吸はなかつた、煙草好きな少尉はたまらないほど苦しかつた

轟然！火柱は夜空を焦す

少尉は手早くその煙草を拾ふと口にくわへ軍刀を小脇にかい込みすくつと立ち上り腕組みをして米兵どもの中へ入つた、そして煙草をふかしながら米兵と一緒になり空を仰いで友軍機を眺めてゐた、誰一人氣づかない、その時のことを少尉は『自分はどんな氣持で立ち上り米兵達と一緒に空を仰いでゐたか未だに判らない』といつてゐる、空襲は約四十分にして終つた、廿一時半再び第二據點へ引返し部下四名の張切つた顏を見ながら乾パンをかぢり敵の寢靜まるを待つた、この第二據點も敵の幕舍と十メートルも離れない場所である

ちやうどこの時遙か西の方に當つて轟然たる爆發の音を聞き間もなく重砲の釣瓶打ちを耳にした、あつ寺澤がやつたらしいぞ、若しそれによつて自分達の行動を敵に察知されてはとはらはらしたが、それは杞憂に過ぎなかつた、二十二時になつて漸く靜かになつた、湯淺伍長は飛行場西方にあるガソリンタンク、筒井兵長は南滑走路にある飛行機、村上兵長は東滑走路にある飛行機、高木上等兵は入口にある探照燈、自分は東端にあるガソリンタンクを爆破する、十分落ついて決行せよ、合圖は懷中電燈を横にふつたら用意、縱にふつて消した時は點火である、點火終つたならば出來るだけ早く破壞鐵條網のところまでかけつけよ、爆破の確認は自分がやる、と部下にそれぞれ任務を與へ『各自配置につけ』と命令したのは二十二時三十分である

少尉は例によつて悠々と懷中電燈を灯しながら部下の一人々々を見廻り爆藥鐵の結び方などいちいち注意した、彼はすでに敵を呑んでかゝつてゐる、最後に自分の持場であるガソリンタンクに來て梯子をかけ爆藥をくゝりつけた、いふにいはれぬ感激がひたひたと全身に押し寄せてわくわく『部隊長殿、中澤少尉以下五名只今決行します』遙かに部隊長に報告し、用意點火の合圖をした二十三時〇六分である

全部點火したがどうしたことか筒井兵長の探照燈はなかなか點火しない、少尉は筒井兵長と協力して漸く點火し附近で確認することにした、じゆうじゆうといふ導火線の燃える異樣な音で夢を破られた敵兵は各幕舍から飛び出して來た『筒井遲れるのだ』少尉は軍刀の柄を握り兵長は手榴彈を摑んでじつと飛行場の方を睨んだ

讃へよ日本武士道の華

轟然たる音響とゝもに先づ飛行機二機は木端微塵に吹ッ飛び續いて兩ガソリンタンクが一大音響とゝもに黑煙濛々と吹き出し、紅蓮の火柱が中天高く舞上つた、敵兵たちは頭をかゝへて林の中へ潜り込み折角意氣込んでゐた少尉たちの期待がすつかり外れた、最後に探照燈がこれまた大音響とゝもに爆破した『萬歳ッ』少尉も伍長も思はず立ち上り兩手をあげて三唱した、任務を完全に達成した少尉の兩頰は火焔に照らされ乍ら雨に濡れた時のやうに光つてゐた、中澤挺身隊は歸路もまた相當に苦勞し、あるひは鐵條網地帶にひつかかり、ある時はジャングル內に迷ひ込み十五日の十六時三十分全員無事出發點で還つた稻垣部隊へ辿りついた

これぞ天佑でなくてなんであらう、天佑とはあらゆる雜念を沒却し、死生を顧みず誠心誠意自己の任務に邁進する時はじめて得られるものである、わが挺身隊の如きは盡忠報國の精神以外に何ものもなく、むしろ神に近い心境をもつて敵中深く突入し、その重大任務を遂げたのである、殊に中澤少尉に至つては用意周到常に細密なる計畫の下に行動し、しかもその實行に當りてはよく部下を指揮し、豪膽無比機を見ること敏であつた、中にも爆破決行の際四回にわたつて單身飛行場へ突入、物件を認める邊り、古武士の風格がある眞に日本軍人の面目を發揮したものである

この挺身隊の行動によつて敵の心膽を寒からしめるとゝもに敵の攻勢は消極的となり、わがその後の作戰を有利に展開せしめたのである、一意君恩に報い米國撃滅の信念に燃え一つの火の玉となつて飛び込んだ壯烈無比なる行動は永く青史に殘り、後世を指導教化することや必せりである、中澤挺身隊こそ日本武士道の華であり、世界に誇り得るわが軍人精神の權化であらう

豪勇！中澤隊長

江原道出身の勇士

ガダルカナル島の前衛部隊として皇軍魂に徹し敢闘勇戰した日本武士道の華、中澤工兵挺身隊長陸軍少尉中澤勳氏は靜岡縣引佐郡三ケ日町文作さんの次男で縣立金指農學校を卒業後、家事の農事に專心中、現役で入隊、見習士官となつて渡鮮するとともに朝鮮江原道金化郡近北國民學校訓導を拜命、內鮮一如の半島國民學校教育に挺身してゐたが、大東亞戰爭に勇躍應召した勇士である

陸軍記念日行事

【東京電話】陸軍記念日に際し全國民が一齊に敢闘精神を新たにするため全國的に左の行事が催される

▲『撃ちてし止まむ』映畫演劇の全國一齊上映、記念日企劃物として特に製作した『陸軍航空戰記』『撃ちてし止まむ』などの戰記文化映畫ほかに『マレー戰記』『東洋の凱歌』『ビルマ戰記』など十二本の推薦劇映畫を全國各映畫館で上映する、一方各演劇も三月公演を『撃ちてし止まむ』一色に定め河本義助氏ほか四氏に委囑して新製した新譜輕演劇、移動演劇などを劇界總動員で熱演する

▲『撃ちてし止まむ』講演會の開催、文化奉公會主催共榮圈本部留學生總動員で東京日比谷公會堂に『大東亞戰爭完遂大講演會』を午後六時から陸軍省情報局、大政翼贊會共催で開催するほか全國各地公會堂、學校では大本營報道部谷萩少將以下全陸軍部員出張、記念講演會開催

陸軍記念日を迎へて

勝利の因〝擧國一致〟

往時を偲び最後まで頑張れ

板垣朝鮮軍司令官談

燦たる戰果を擧げ北方はアリューシャン列島から南はソロモン印度洋に亘り皇國不動の態勢定まり今こそ、驕慢なる米英擊滅の『撃ちてしやまむ』の熱血を沸らせて迎へる光輝ある第三十八回陸軍記念日に際し、朝鮮軍司令官板垣征四郎大將は出入記者團と會見前線將兵の勞苦を偲び銃後の總力發揮に邁る勇姿に感謝を表するとともに、重ねて決戰下に處する國民の決意を促す勝利を摑む要諦を語つた、日露役におけるわが國情はまさに振古未曾有の國難であり、挺身よく殉國の誠をなし兵力裝備ともに優れた露國を壓倒したものは實に『撃ちてしやまむ』の逞しき皇國魂の發揮に外ならなかつた、今日再び國運を賭し皇國興廢の岐路に立つ國難非常の秋に際し、われ等は先人の偉業に訓へられ斷じて一人の落伍者もなく聖戰の礎石となり總力を結集して旺盛なる攻撃精神の昂揚を計り、當面負荷されたる增産戰に完璧の成果をあげ、精強不斷の鍛成により政府不拔のもと驀進せねばならぬ旨を強調、烈々の言に多大の感銘を與へた、談話の大要は左の如し

當時世界最大の陸軍國といはれたロシヤに對し、アジヤの一小國たり日本が、遂に奉天大會戰において痛快な止めを刺して世界を驚嘆せしめた、それは卅八年前のけふである、陸軍にとつてけふといふ日は洵に意義深き日であり、當時を偲び今日を想ふと全く感慨無量である

日露戰役の影響

まづ日露戰爭が及ぼした影響を考へて見よう、第一は滿洲におけるロシヤ權益の驅逐である、日本はこれによりアジヤに確固たる地歩を占めて大陸政策に乘り出すことゝなつたのである、第二は明治維新以來の懸案となつてゐた朝鮮問題の解決、それから第三は日本の軍備の鞏固なることを世界に認識せしめ、日本の國際的地位を急速に向上したこと、第四はこれによつてアジヤ諸民族の覺醒を促し白人の桎梏を脫して民族の自覺獨立を圖る機運が勃興したこと、今日の言葉でいふと日本を盟主とする興亞運動の嚆矢なのである、これは實に大きい收穫であつた

今日の大東亞戰爭はこの日露戰爭によつて顯現された理想と道念の最後の仕上げといつても決して過言ではないのである

露國の野望粉碎

溯つてこの戰爭勃發の原因はどうであつたか、ロシヤは北淸事變後の條約で定められた滿洲からの撤兵を實行しないのみならず、淸國と勝手に條約を結んで奉天、大連を租借し滿洲には牢固たる陣營を扶植し、これをもつて衝頭に對する積極政策の基點とし、更に進んで朝鮮に勢力を伸ばし鴨綠江を堺として中立地帶を設けたり、或ひは龍岩浦を租借するといふ次第で實に傍若無人の振舞ひをするといふ始末、日本としては勿論屢次の折衝を行ひ相手の反省を促すと共に心中無念の憤に堪へなかつたが、敢て我慢に我慢を重ねた、言ふまでもなく、ロシヤの勢力が朝鮮に及ぶといふことになれば、これは恰も日本にとつて咽喉に刄を擬せられたやうなものであつて、日本の存立を脅威されることは勿論のことである

これでは否が應でも敢然起たざるを得ない、そこでどうしても戰をしなければならぬのである

記者團と語る板垣軍司令官

較して實に微力で試みに彼我兩國の平時兵力を比較してもロシヤ百廿四萬に對し、我は僅かに十七萬で敵は我の七倍以上の態勢であつた、然し國家にも度あり我は斷乎として敵の挑戰に應じて起立つたが、遺憾ながらそれが簡單にさう決心はつかないのである、何と言つても當時のロシヤは歐洲に於ける最強の陸軍國と稱せられたフランスとは兄弟もたゞならぬ仲である

遂に正義の劍を執る

我が國の當時の國力は今日に比し算盤を度外視して止むにやまれぬ正義の劍をとつて大義名分の開戰の火蓋を切つた、ところが果せるかな先方は却々優勢である、例へば兵器にしても七十五サンチの野砲でばりばり打込んで來るのだが、これは砲身後座式といつて最新式のもので、これは兄弟の誼みでフランスが發明したばかりの當時フランスがロシヤに提供したものである

輸送力にも相違

我國の砲は三一式野砲で射程からも發射速度から云つても比較にならぬ、銃器にしても日本の方には裝備はなかつたが先方はちやんともつてゐる、步兵火力に於ても非常に差があつたわけである、その後漸くのことで遼陽會戰で向うのものを分捕つてこちらで機關砲隊といふものを初めて創るといふ始末である、實にこの點では苦心の連續だつた、殊にもう一ついけないのは輸送力の問題である、向うの單線による輸送力はこちらが豫め計算した輸送力と數字の上に於てずつと懸け離ふ、向ふは想像以上に物凄い輸送力を發揮するのである、それも道理で調べてみるとどんどん送り出してゐる貨車はその儘歸さず犧牲にして後から新しい貨車を積み出すのである、これでは單線とは云へ複線以上の効果を發揮出來るわけである、こちらは逆に困つてしまつた、全然といつてもよい位に輸送は間に合はないのである、現に奉天會戰に用ひた野砲一門當りの砲彈の割當は僅かに三百發に過ぎなかつた、これでは一日で打つてしまへる分量である

大義名分我にあり

かゝる狀態の中にも拘らず何故我方が大勝利を收め得たか、これは當時世界の誰もが一つの奇蹟として驚嘆した事實である、然し理由は簡單である、前にもいつた通り大義名分は我にあつたからである、ロシヤは非望を抱いて橫車を押して來たのに對し日本は隱忍に隱忍を重ねその存立が危くなるに於て決然起つた、これは當時の世界各國何れもが認めてゐるところである、それから今一つロシヤの兵隊及び國民は無智無教育の者が多く何の爲に戰をしてゐるか、餘りすつぽ知らない、所謂烏合の衆であつた、ところが日本はこれに比較して國內一般によく教育が普及して國民全部が戰爭の目的といふことをちやんと承知してゐた、當時政爭などもあつたが、戰爭勃發と同時にぴつたり止んだ、この意味で國內的協力一致の有無が日露戰爭の勝敗を左右したと稱しても決して過言ではないのである

當時に劣る精神生活

今次の大東亞戰爭亦然りである、戰爭の目的から云つても御詔勅にある如く經濟上、軍事上の脅威を增大し東亞安定に關する我方の努力を水泡に歸し帝國の存立を危殆に瀕せしめる、これは明かに日露戰爭と揆を一にしてゐるのである、從つて今回の戰爭に於ても日露の役に行はれた擧國一致の鐵體といふものが何物を措いても強く要求されるのはこゝである、その意味に於て國民の戰時下に於ける精神生活は當時と比べてまだまだの觀があることは遺憾に堪へない、殊に一般國民として是非心得て置かなければならぬことは今後日本として戰ひ拔くにはどこ迄も日本獨力でやるといふことである、日露の役當時は中立國があつた、それに英、米、佛あたりから日露兩國ともに軍需方面では相當の援護を受けられたし、又これ等中立國の仲介で講和會議が開かれた、然し今度の場合はさうではない、世界を擧げて樞軸國か反樞軸國かに二分されて列國を擧げての世界戰爭なのである

國民一致協力せよ

從つて東洋においては日本が指導的地位に起つて戰爭遂行は飽まで日本獨力によつて最後まで頑張り通す覺悟がなければならぬのである、生産擴充に必死の努力を續ける所以も一億を擧げての協力一致を說く所以もこゝに他ならないのである、日露の役にアメリカが調停役に立つてのポーツマス和平會議は今次戰爭に於て夢想だに許されるものではないのである、世界に新しい世紀の建設成るの日まで樞軸國の反樞軸國打倒の決戰は續けられるのである、反樞軸國側亦必死となり今や全國力を擧げ、反攻の態勢を執りつゝある今日所謂食ふか食はれるか、結局どこ迄も勝ち拔く飽く迄勝拔くといふ信念と國民一丸協力一致の和から生み出される大意の絕對境地がどこ迄も必要な譯である

消息

◇岩瀨米藏氏（鹿島組京城支店次長）九日東上

谷 馨著 歌集 妙高 ￥2.60 〒20

太田黑克彥著 鎌倉武士（時代小說集）200頁 ￥1.80 〒20

刊 近 現敗壤の俳才たる谷氏が數年に亘り苦吟せし傑作秋集。臼田亞浪先生が激賞せし名歌集。

近刊 アントニー・フオツカー著 わが征空記（フオツカー自叙傳）（三月廿日發賣豫定）價一・八〇 〒一七

ベルトラム著 言葉の自由に就いて（三月廿日發賣配本豫定）A5判箱入 價二・五〇 〒一八 獨逸哲學評論

野澤 純著 心の花束（少女物語）價二圓 〒一七

上林 暁著 小說を書きながらの感想 B6判箱入 價二・五〇 〒一八 文藝評論隨筆集

吉川英治著 虛無僧系圖（長篇小說）價二圓 〒一七

片岡鐵兵著 彩る野（長篇小說）價二圓 〒一七

文林堂双魚房 東京牛込區市谷台町四 振替東京一〇六〇番

社説 撃ちてし止まむ

一

大東亞戰爭は今や深刻にして熾烈の決戰的樣相を呈し來り、前線においては血を以て血を洗ふ凄絶なる死鬪が今なほ繰返されつゝある。銃後一億また皇國の存亡を賭して、前線の勞苦に應へ、「撃ちてし止まむ」の昂然たる戰場精神に燃えて、勝利への大道を驀進しつゝある。皇國三千年の歴史に我が大和民族は未だ曾てかゝる大いなる秋を體驗したことはない。この秋に當りけふ大東亞戰下第二回目の第三十八回陸軍記念日を迎ふ。我等の感懷一入深きものを覺ゆる。

二

日露戰爭は帝國にとつてそもそも東亞を侵略せんとする外來勢力撃攘の最初の烽火であつた。而もこの奉天會戰の大決戰は正義と人道に基き、八紘爲宇の大理想を顯現せんとした聖戰の戰爭であり、毅然東亞人の東亞建設のために起つた自衛の平和の戰ひであつた。その後に引つゞく滿洲事變然り、支那事變亦然り、そして我等が現前戰ひつゝある大東亞戰爭まさに實にその性格と目標をこれと同じうする。換言すれば、日露戰爭こそ大東亞戰爭の緒戰であつて、大東亞戰爭は實にこの決戰に次ぐ決戰の連續に終止符を打たんとする大決戰であるといふことが言ひ得る。

三

而して我等はいま實に卅八年前の今月今日、滿洲の曠野に繰り展げられた一大決戰の樣相と、それを契機として交へた當時の皇國一致の銃後を想ひ起すのである。彼の日、時は三月九日、全軍は遂ひに露軍を包圍し得たが、兵力の劣勢、彈藥の缺乏、而も連日の惡戰苦鬪により疲勞困憊その極に達した時、露軍新鋭部隊の反撃前進に遭ひ、全しく窮地に陷れんとする危機に立つたが、果然これを邀戰、遂に彼の大勝に導いたものは一體何であつたか。それこそ實に大山司令官が徹底に與へた統帥の訓示即ち『撃ちてし止まむ』の大精神が率先して將兵の心底に融へつたからである。この敢闘精神この殉國の至情、之ありたればこそ、食ふか食はれるかの彼の大戰に輝かしき勝利を獲、帝國を一躍輝く世界の強國たらしめることを得たのである。

四

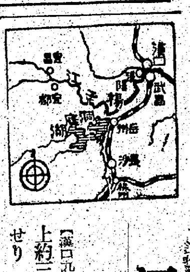
而して又この世界戰史に冠絶せる我々の大戰果はかくの如き前線將兵の『撃ちてし止まむ』の大精神が神風と共にあつたことによるは勿論であるが、なほ、こゝに忘れてならぬは銃後の東一致と殉國精神の發露であり前線を支へる銃後に聊かの動搖があつてならぬことは戰爭が總力戰と呼ばれる所以を見ても一目瞭然である。即ち銃前銃後を貫く必勝不敗の態勢こそ戰爭に勝利を得る所以である。即ち銃後また國民の一人一人が『撃ちてし止まむ』の殉國精神に燃えざれば、勝利は所詮我等のものではないのである。日露戰爭時における銃後の一致せる奮鬪と努力またこの例に洩れるものではなかつたことを我々は深く反省すべきである。

五

『撃ちてし止まむ』――今こそ我等はこれを一億の合言葉としてこの戰爭を勝ち拔かうではないか。そのかみ、神武天皇は深く皇祖皇宗の御使命に鑑み、天下平定の大御心を以て、六合の中心たる大和に入らんとし給うたが、頑冥なる長髓彦を首領とする土賊八十梟帥は敢て御稜威を妨げ奉つた。神武天皇御東征の大御心を今に體して、たゞ米英撃滅の戰ひに勝ち拔く決意の下に至誠奉公の誠をつくさねばならぬ。天皇は、神兵を發せられ、大和を作られて大伴・久米の兵士どもを勵まし給うた。その一節を謹みて拜するに『忍坂の大室屋に人多に入り居りとも人多に來入り居りとも みつみつし來目の子等が頭椎石椎もち 撃ちてし止まむ』と。實に『撃ちてし止まむ』の精神は皇國の誓ひであり承け繼ぐ我等の勇武の大精神である。我々はこゝに深く思ひを致し、神武天皇御東征の大御心を今に體して、たゞ米英撃滅の戰ひに勝ち拔く決意の下に至誠奉公の誠をつくさねばならぬ。

梨本宮殿下 御古稀の御祝

【東京電話】神宮祭主梨本元帥宮殿下には九日御目出度く御七十歳の御誕辰を迎へさせられた、古稀の御祝も時局下公式の御催しは一切御取り止め遊ばされたが、この日午前十一時半、梨本宮、同妃兩殿下には三雲別當、大松澤事務官を初め宮家職員などの御祝詞をうけさせられ、御參殿の李王同妃兩殿下と御祝詞を交はさせられ、正午には梨本宮同妃、李王同妃四殿下、閑院家など御近親の方方と御揃ひにて午餐を召させられ御内々に佳日を壽がせられた



牧田中將親補 大阪警備府司令長官更迭

【東京電話】大阪警備府司令長官小林仁海軍中將の軍令部出仕に伴ひ、後任としてこのほど戰線から歸還した牧田覺三郎海軍中將が親補せられた旨九日海軍省より次の如く發表された

海軍省公表（三月九日十五時）本日左の通り親補せられたり

海軍中將 牧田覺三郎

補大阪警備府司令長官

なほ前任者海軍中將小林仁氏は軍令部出仕に補せられたり

定期敍勲

【東京電話】既報の通りでは行政裁判所長官選擧(?)氏に旭日大綬章を下授あらせられたほか文武官七千五百九十六名に對し九日定期敍勲の御沙汰あらせられた、主なる者左の如し

行政裁判所長官勲一等 [illegible]

授旭日大綬章

陸軍中將勲二等 原守

同 同 富永信雄

同 同 松山茂三

同 同 澄田睞四郎

同 同 青木重誠

海軍中將勲二等 井上保雄

同 同 鳥巣玉樹

同 同 茨城清次郎

名古屋帝大總長勲二等 澁澤元治

陸軍中將 同 山本務

敍勲一等 授瑞寶章（各通）

江南に進攻開始 中支軍精鋭揚子江敵前渡河

【漢口九日同盟】中支軍發表（九日十六時）軍は三月八日夜岳州以西の揚子江上約二百キロの間にわたり敵前渡河を敢行し江南に對し進攻を開始せり

敵船を撃沈

【リスボン八日同盟】メルボルン來電＝西南太平洋反樞軸軍司令部は反樞軸船一隻がニューギニヤ沿岸において日本軍のため撃沈された旨發表した

敵遺屍一千二百 冀中、南の綜合戰果

【北京九日同盟】北支那派遣軍の冀中、冀南兩地區剿共討伐戰における〇〇部隊の二月中綜合戰果（作戰を含む）は次の如く赫々たるもので、昨年五月敢行された冀中作戰に次ぐ大戰果である

交戰回數四五、交戰敵兵力四八、三八九、遺棄せる敵屍體七、一二〇(?)、捕虜六、四四五、遺棄死體一、二九〇

芳澤佛印特派大使談

【東京電話】昨年末歸朝以來青木大東亞相はじめ中央當局と要務打合中であつた芳澤佛印特派大使は用務を終へたので、十日午後三時東京驛發離任の途につくことになり、九日午後青木大東亞相、山本次官などと最後の打合せを行つたうへ東條首相を訪問、歸任の挨拶を述べ、また獨伊兩大使を訪問した

本日の兩院

貴族院 午前十時本會議を開き市制改正案外三件を上程可決成立、續いて東京都制案を上程可決成立、最後に請願十四件を採擇して散會、十一日より自然休會に入る

衆議院 休會

金組貯蓄目標額 忠北、黄海は割當達成

朝鮮金融組合聯合會本年度の貯蓄目標額（當座預金は含まず）は一億七千萬圓であるが一月末現在における純增高は一億二千四百七十八萬九千三百六十圓で目標額に對する七三%の達成歩合である、各道別は次の如くで忠北、黄海兩道は既に割當達成の好成績である

道別	純增高	達成率
京畿	三六、三五五、〇三三	九六%
忠北	四、二六〇、九八〇	一〇八
忠南	七、三三一、四三三	八〇
全北	一二、四九九、六九七	九三
全南	八、八〇一、四〇六	四四
慶北	一〇、〇一六、一七三	六一
慶南	一〇、七九一、八〇七	六六
黄海	九、〇三三、六四四	一〇〇
平南	八、三三二、三九九	七五
平北	九、八八八、一〇八	六九
江原	四、八四七、一〇八	四四
咸南	七、二二四、七〇六	三四

保險優秀外務員 八日表彰式擧行

社團法人生命保險朝鮮協會では八日午後三時から遞信局會議室において財務局長代理岡村管理課長、朝鮮軍報道部長倉茂少將臨席のもとに、九億貯蓄達成に優秀な成績を擧げた保險外務員百九十一名の表彰式を擧行、協會長の挨拶に次で第一生命久保山氏ほか百九十名の成績優秀者に對し、會長よりそれぞれ表彰狀を授與、次で岡村財務局長代理、倉茂朝鮮軍報道部長の祝辭があり、最後に被表彰者を代表して第一生命和氣清氏より答辭を述べ、同四時過ぎ閉式した

半島電氣技術界に朗報

發電事業に初の試みたる流域變更式の採用や、戰時下鴨緑江の堰止めによる世界屈指の水豐ダム建設など半島電氣技術陣は本邦最高水準をゆくものとして注目されてゐるが、これも又、半島電氣技術界の誇るべき朗報――朝鮮水力長津江發電事務所電氣課長文吉(?)三郎、同技手鶴野虎雄(?)兩氏はこの程遞信省で行はれた電氣事業主任技術者資格檢定試驗による本年度第一種試驗に受驗、見事合格した、第一種試驗は電氣界における最高の難關として東大、京大などの出身者でも至難とされるもの、本年度試驗には全國よりの應募者百九十四名のうち合格者は僅か六名しかなく、そのうちの二名が半島電氣技術陣によつて占められ而も兩氏とも中等學校卒業のみの學歴で實地について刻苦研究の結果が今日の凱歌となつたもので朝鮮水力としても近く兩氏を表彰することゝなつた

各地大引一覽（九日後場）

銘柄	朝取短期 大引	高値	安値
朝取新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大拓新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東拓新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高周波	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿洲新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
マグネ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
製鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
雛工	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小林	[illegible]	[illegible]	[illegible]

銘柄	大株短期 大引	高値	安値
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重工	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戸鋼	[illegible]	[illegible]	[illegible]

銘柄	東株短期 大引	高値	安値
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三菱重	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
領蕃	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]

決戰〃半島の基礎 農業生産力の增强へ 道農務課長會議

十八年度の農業生産を徹底的に增産して決戰半島の基礎を不動のものとするため總督府は食糧配給對策から積極的生産對策の出發に先立つて三月廿九、卅、卅一の三日間各道農務課長を招集すると共に道試驗場長及び增米、畑作の擔任官を招集し增産に關する道農務課長會議を第一會議室に開催、こゝに中央地方を通じ一體となつて食糧作物を主體に強力な農業生産力を劃期的に增强するの指導體制とその方向を具體的に決定することになつた

右會議における打合せ事項は次の通りである

增米關係 一、指導體制の整備强化

一、地帶別耕種基準の檢討

一、既往收穫地帶の收穫

一、水稻種子更新事業の擴充强化

一、灌漑水の確保

一、增米事業促進實施の徹底

畑作物增産關係 一、食糧畑作物增産遂行の徹底

一、指導體制の整備强化

肥料關係 一、施肥法の改善

一、自給肥料の增産

諮問事項 一、既往の實績に徵し增米計劃實施に特に刷新改善または擴充强化を要すべき事項の具體的方策

二、昭和十八年度增米目標達成上既定計劃中道の實情に鑑み本年度特に重點を置きて實施せむとする事項の具體的方法

三、緊急食糧增産上既往の實績に徵し耕地高度利用の見地より今後特に改善强化を要する事項

四、食糧自給上畑作物確保の見地より今後特に地方的に奬勵を要する作物並にこれが增産方策

五、肥料不足の現狀に鑑みこれが對策として從來の試驗成績に基き奬勵しつゝある重要なる事項、採種の技術的指導對策及金肥の肥効增進に關する本年度實施豫定方策並に試驗研究を要する事項

六、各種開業、技術機關にして時局の要請に應ずる施策を爲すべき方策

その他事務、資材關係特に鐵材、木材、非鐵金屬、鐵屑等の手當につき種々懇談した

車輛統制會朝鮮支部打合會

車輛統制會朝鮮支部では八日午後二時から京城鐵道ホテルに傘下會員打合會を開催、神谷支部長からこの程本部に開催の役員會における戰時製車製作その他につき説明あつた

日窒機構刷新

日本窒素では決戰下の事態に即應し、その負荷せる重要使命完遂を期して今回同社の機構職制を全面的に刷新强化することになり本月よりこれを實施した、即ち從來の部の上に新に總務、業務、企畫、南方の四局とほかに局同格の人事、監査の二部を設けたが朝鮮關係の人事としては常務取締役南方部長久保田豐氏が南方局長に昇格、同京城支社長白石宗城氏が企畫局長に轉じ後任京城支社長には取締役東京事務所長永里高雄氏が任命された

發表された職制左の如し

▲社長＝野口遵▲副社長＝市川誠次▲總務局長＝金田榮太郎、總務部長＝山本發美雄、經理部長＝吉田喜一▲企畫局長＝白石宗城、技術部長＝田代三郎、企畫部長＝武岡律治▲南方局長＝久保田豐、南方部長＝林道太郎、調査部長＝野口寛▲業務局長＝渡邊直三郎、業務部長＝宗像三郎、資材部長＝中村峻夫、運輸部長＝田中獅三郎▲人事部長＝金田榮太郎、▲監査部長＝市川浩、京城支社長＝永里高雄

木船保險法ほか九法律公布

【東京電話】今期議會で成立を見た木船保險法ほか九件の法律が九日附をもつて公布された、これにより過日成立せる法律案八十四件中公布されたものは四十件となる

織物、移入兩團體 愈よ分裂改組の機運

戰力增强に緊急不可缺な企業整備五ヶ年計畫における纖維産業の再編成進捗に伴ひ今後は好むと好まざるとに拘らず生産、配給兩面機構の整理統合を要請されるに至つた、殊に從來その多くを内地に依存してゐたスフ人絹、織物、内地産絹織物類等の十八年度における移入數量は未曾有の激減を豫想され、從つてこれが移入配給機構の整理統合は不可避とされるに至つたので、これら移入品の元卸機構たる朝鮮織物移入組合並にスフ人絹織物移入組合の兩團體は目下これが對策に腐心しつゝあるが、右兩團體の組合員中には既に内地における親會社乃至從來の取引商社を失つたゝめ今後の經營が困難となるのと、一方營業關係から從前通り存續を許された大商社の出先機關とがあつて利害關係が相反するものがあるが果して從來の如く同一歩調をとり得るか否かは疑問であり、斯かる見地から最惡の場合は兩團體の分裂改組さへ豫想されるに至り、今後の推移は極めて注目を要するものがある

國體の本義と道義半島（十五）

鎌田澤一郎

一六

東方大世界に繫がる 崇高なる文化と精神的結合

民族相互の生活基盤、即ち生活の意義、態度、樣式を異にする文化價値の方より觀察するに、血緣關係以上に最も接近した、或る意味では一の實體を持つてゐる事實を多々發見し得るのである。この兩地文化の同源關係は過去に於て歴史的事實として現在我々の心の内容を構成してゐると同時に、また進んでは將來に向つて永久に結んで離れざるものである。

しかもこの文化的聯繫は内鮮兩地のみにあらずしてアジヤ大陸の全域を風靡し得る一大系譜であつて、極めて自然に全東方を打つて一丸となすところの内容を備ふるものである。由來アジヤ大陸の文化の流れは、これを三つの系統に分析することが出來る。大陸中部の高原地帶に沿つて東の一線をキルギス高原を經て、蒙古シベリヤの一文化線は少くとも東は滿巴から引き、かくて二分された南半部を更に縦に區切つて、つまりアジヤ大陸をT字形に三分すると、南半部の西なるは印度中心の一文化圏、北半部は内地、朝鮮及び東アジヤの全部を包含したる一文化圏であつて、この地域は南方なる他の半面に比べて尚一層の包括さるる範圍も廣く、而も東方人種發達の複雜なる、幾多の蘊蓄を秘めて居るものといふことが出來る。この特異なる文化圏が、滿洲に延び、更に朝鮮を通つて、内地琉球等を包括して、世界いづれの國民史にも匹し得る悠久なる年代と複雜なる事態とを重ねて居るのである。

その文化の特質と地理的事情とによつて、普通の意味に於ける遺物古蹟や、乃至記録的の傳承は極めて廣々たる有樣であるが僅かに東の果なる朝鮮半島や日本の島々が長い間同一の國土同一の國民によつて、古い傳統をよく文化遺産を保有し來つたが故に、この兩國民を通じて或る程度までその文化の本質源流を徵し得るのである。それが朝鮮のみでは分らず、内地のみでも明かにされないで内地と朝鮮との古代文化を一つにして比較對照し初めてその實相が分明して來るのである。たとへば國史の開卷第一に展示さるゝ神國日本の風貌は伊弉諾伊弉冉兩神によつて作り上げられたる莊嚴なる國土論ではないのであつて、天祖と日神の統を承けられて神國の姿を齎へさせ給うた悠久なる昔からの事實である。しかしこの意味に於ける神國は必ず日本のみに限らず、日本と同一信念を基とした一種の文化ブロックを形成してゐるとも云ふべき、廣く東方アジヤ諸國民の傳承中にもこれを發見することが出來るのである。古代東方の諸國民は、何れも天に在はす大日靈を、宇宙の主宰にしてまた自らの祖靈なりとし、その御孫が人間世界へ天降られて、國作りをされたといふ點に於て同一信念を持つて居ると少しも日本と異りはない、我が神話傳説と、朝鮮のそれとを比較してみて本來分離的なるその諸事實が、符節を合するごとく首尾一致してゐるが如きもその一例である。

その他民族的信仰、生活觀念、生活の心理的要素等を精細に分析探求するならば、最も手近なる古典の中に、その文化的聯繫の證跡を一なることを數多發見し得るのである。皇國の神を最も崇敬する古神道、又日本精神の精華なる武士道の淵源が半島の古道に繋ねられてゐるごとき、兩民族の道に對する意識、道徳の内容が如何によく相一致するかを證る顯的な事實も存在する。

それは敢て内鮮の關係のみにおいてでない。東方諸民族の何れにも具つてゐる共通文化價値であつて東方の大世界が崇高な一文化の紐に繫がれて、美しい精神的結合をしてゐた時代が終つてのち、我等の背後に連綿としてつゞいてゐるものである。日、歴史は正直に、事實は確實に語つてゐるのである。

兩々民族相互の接觸において最も新しく、且つ心強い結合は何よりも文化の一致である。これが歴史的事實であり、民族的現實であり、民族相互の心底に深く根ざしてゐる傳統的信念ならば即ち、更に一切の混亂をかたづけ、又一切の機構を作り出すのも文化の力であり、やゝもすれば唯心的に離れ勝ちな民族的意識をも、たゞ一つの文化の中においてのみ同調しか融合し得るものである。

隨想録

『欲しがりません、勝つまでは』の合言葉も都會で聞くと何かそらごとめくが、地方の農民は生命にかけてこれを實踐してゐる▲戰ふ國の民であるからには、忍ぶといふ觀念になるのさへ慚み、不足に堪へるのを當然として勝ち拔く態勢を固めねばならぬ、特にその感懷を忘れられなくはない▲この時に當つて農民達は增産に勵み、供出に邁進されてゐる。現に全羅南道方面は昨年の旱魃に惱まされ乍ら、斷じて悲觀もせず天を怨まず、今年こそはの決意で增産を實現せしめようとしてゐるが、食糧の不自由は勿論である▲しかし、農民達は何處へも救ひを求めない。耕地敷衍に從ひ、貯水池の新設に勵き、そして配給米をもつて生活し、足らぬところは何でも食ふ決意を固め、それを實踐してゐる▲甘藷の蔓と葉、大根、蕪などから、松葉、松の内皮も我等にとつては勝ち拔く爲の原動力なのである。麥や雜穀の如き代用食の原料も、で米麥の收穫を待てなかつた農民が、決して自分から救助を求めなかつたのに悲慘な窮乏を受ければ何も恥かしがる樣子を見せるのを、何と云へばいゝか▲何でも欲しがり求めても得ぬくところを知らぬ人達がもしあるとしたら、『欲しがりません、勝つまでは』と聲に出してもう一度この農民達の決意とその實踐を考へてみるべきである

文化

けふ陸軍記念日

金鐘漢

この繪本をごらんなさい、ははよ……戰へば必ず勝ち、攻むれば必ず取り

づしり、づしり

どたり、ばたり

命令一下欣然として死地に投じ、自ら信じて毅然として戰ふ……こんな美しい風景が、ははよ、世界のどこの國にまたとあるでせうか

★

この繪本をごらんなさい、ははよ……神靈上に在りて照覽し給ふ、仰いで神明の加護に恥ぢざる

づしり、づしり

どたり、ばたり

正にして武、武にして仁、服するは赦さず、從ふは慈しむ……こんな美しい風俗が、世界のどこの國にまたとあるでせうか

★

ははよ、この繪本をごらんなさい。陸軍記念日の繪本を……百戰百勝の傳統でぬりかへた、新しい東亞の地圖をごらんなさい

づしり、づしり

どたり、ばたり

身心一切の力を盡し、從容として悠久の大義に生くる――あなたの息子にも、ははよ、いよいよ召される日が近づいた

★

この繪本をごらんなさい、ははよ……攻むれば必ず取り、戰へば必ず勝ち

づしり、づしり

どたり、ばたり

千載必死の訓練に生ぜる、全軍一令の下に寸毫まるなき……こんな美しい繪本が、ははよ、世界のどこの國にまたとあるでせうか

（私にとつては、實はあまりに大きく、美しい存在なので、正面から繪ひこなすことが出來なかつた。表具師のやうな役割しか出來ないのであつた）

不連續線 往時追懷

僕は子供の頃を思ひ出す。新聞社もないやうな田舍の町だつたので、號外などは出なかつたし、まだラジオもない時代だつたが、誰いふとなく傳はつて來た戰勝に、町は旗の靡くやうにひつくり返つた思ひ出がよみがへる。『萬歳だ。奉天が陷落したぞ』旗行列、煙火、提灯行列……。あの頃のことは、子供心にもはつきり覺えてゐるが、あれから滿卅八年を過ぎた今日、あらためて日本の大きさを見る。【しかし、これでよいのか】さう思ふ心は特に強い。

田中初夫氏の抒情詩展覽會

半島歌壇に長い貢獻をつゞけて來た田中初夫氏が十二日（金）から三日間丁子屋五階に於て、半島としては初めてといふべき抒情詩の展覽會を開く、朝鮮國秀詩抄『秋扇帖』の飜譯詩を初め昭局の歌、歷詩譯抄、くさぐさの歌等全部で七十篇、いづれも色紙に書かれた四行詩で、詩の專門家と門外漢とを問はず、親しみ深く心惹かれるものがあるだらう

錄音ステージ

◇……情報課に新設 總督府情報課では昨冬來總督十餘萬圓を投じて映畫錄音と同ステージ設備の據付工事を行つてゐたが、このほど全部完成した 錄音機は日本音工業システムでステージは完全防音を施されてゐる。規模ながら半島としては目下本裝置が唯一のものとなつてゐる なほ同課映畫班主任高氏は上京中であるが歸任を待つて企劃中の教育、啓發諸作品に本裝置が使用される筈

〃朝鮮〃を上演

城寶の劇團『阿娘』では今度企劃を一變し徵兵制實施を記念するため廿四日（水）から五日間朴英鎬原作の『朝鮮』全五幕を京城府民館劇場で上演する

文化だより

◇李無影氏（朝鮮文人協會幹事）十二日京城驛發東上、廿三四日頃歸城の豫定

◇金億氏（詩人）第一詩集『ねのうた』を人文社から、第二詩集『春白集』を明文(?)堂から近刊

◇廣川創用氏（滿洲演藝協會京城出張所長）事務所專用として電話本局六三三四番を加設した

京日俳壇

霜や雪へだてゝ峠の雪(?)　伊勢　北林成道

氷江にこゝだく穿ち寒釣場　京城　稻田玄鷗

[illegible]　福岡　清原楊童

【季季雜詠】三月廿日（土）締切▲官製はがきに一人一枚一句づつ認め五枚以内

スリナ 紅・白粉・ホホ紅

クロバー 撃ちてし止まむ 高級口紅 ホホ紅

テラポール軟膏 創傷・面皰・膿皮疹 火傷・膿瘍・痔疾 「第一」の外用スルフォンアミド劑 ◉最高純度テラポールの、化膿菌に對する強き抗菌力を、患部に直接作用せしむる新外用劑。◉創面を淨化して化膿を防ぎ、肉芽の新生を促進し、或は化膿部自潰して切開を待たず治癒せしむる等、効果頗る速やかなり。 チューブ入 ・五〇 ・八〇 第一製藥株式會社 A-18

製鋼カラ製品一貫作業 勝ち抜く爲の此の工具 超硬質合金デンアロイバイト 電熔鋼製株式會社代理店 三和工業株式會社 東京(京橋ビル)岡崎町二番地 電話 京城(4)二二四五番・一九三五・夜間

獨學でリッパに中學卒業が出來る 國民中學講義録 ◎獨學時代來る!! 十六歳で專檢合格 獨力實行 獨學者に中學の資格を與へ專檢・高女卒業の資格を與へる、學資・時間・會費も…… 第四十一回新學期開講 會員大募集 無代進呈 今スグ 東京・代々木驛前 大日本國民中學會 ◉獨學で完全に高女卒業が出來る 高等女學講義録

商業登記公告

[illegible]

第八期決算報告

[illegible]

第十八回決算公告

[illegible]

けふ輝く第卅八回陸軍記念日

卅八年前の今日、我國は當時世界最大の陸軍を擁してゐた强大露國を向うにまはし、奉天周邊に一大會戰を展開見事これを擊碎した、米英擊滅の國力を築き上げた一大原動力がこの奉天戰であつたことを想ひ、我ら一億國民は大東亞戰下再び迎へる第卅八回陸軍記念日の意義を再檢討すると共に、喰ふか喰はれるかの深刻な現前の事實を直視し、熟思し、擊ちてし止まんの覺悟を一層强固にせねばならぬ

當時兒玉總參謀長が『戰敗の豫想は五分々々である、これを何んとかして四分六分にしたいものである』と述懐したのを見ても明かなるごとく敵の戰力は非常に强大、壓倒的であつたことが想像し得る、しかも卅八年前の我らの父祖はこの强敵に對し、戰線に銃後に擧國火の玉となつて艱苦奮鬪遂に大勝利を收めたのである、この名譽を斷じて汚してはならぬ

今や皇軍は御稜威の下、陸に海に空に大東亞の全域に米英擊滅の戰果を擴大中である、開戰以來の赫々たる戰果により戰略的には絶對不敗の地步を確立するに至つた、さはいへ戰ひは精神、科學、政治、經濟、文化など國家總力の綜合力の優劣によつて決する、生產力に物をいはせ總反攻を企圖しつゝある敵の戰力、戰意は斷じて輕視してはならぬ、戰ひは正にこれからである

我らは一切を擧げて敵擊滅に驀進せねばならぬ、物の不足、生活上の不自由などにことあげすることは許されない、支那事變を五年もやり、國民米英擊滅の師を進めること既に一年有餘になる、しかも今後何年續くかわからぬ大戰爭なのである、物の不足、不自由は前からわかり切つたことであり、更に苦しくなることもまた判り切つたことである、如何なる艱苦、困難にもじつと齒を喰ひしばり斷じて勝ち拔かねばならぬ『刀が折れたら腕で行け、腕が切られたら脚で行け、脚が切られたら齒もて敵の咽喉笛に喰ひつき必殺せよ』との鬪魂武士の訓は擊ちてし止まむの標語を地で行つたもので、これこそ我ら一億の必勝體制の心構へでなければならぬ

外侮をうけたることなき輝かしき皇國の歷史、悠久の皇祚を扶翼し奉る我ら國民は實に無窮の有難さに身内がうづく、大東亞戰完勝、大東亞共榮圏建設に對する最前線兵站基地朝鮮の使命はいよ〳〵重大性を加へて來た、榮える御代にあへる御民われの感激を以て内鮮一體となり滅私報國、以て日露當時の父祖に應へると共に我らの子孫をして昭和の御代の我々を讃仰せしめるに足る護國の礎をのこさうではないか

×　×

米英擊滅の雄叫び
增產に、生活に打込む鬪魂
繰展げる必勝の行事

大東亞戰下再び迎へる第卅八回陸軍記念日――想ひ起す卅八年前、わが皇軍の精鋭は帝政ロシヤの東亞蠶食の野望を一擧に粉碎慴伏せしめた光輝ある日だ、その日本は今日世界の公敵米英を相手に破邪の劍を揮つて歷史的決戰に直面しつゝあるのだ〝擊ちてし止まむ〟の決意も新たにこの日朝鮮では總督府を中心に陸海軍部、總力聯盟、軍人援護會、在鄕軍人會その他各種團體が協力多彩な行事を繰ひろげ壯な軍國色を盛り上げ戰爭意識の昂揚、增產、國土防衛、戰時生活の確立等を圖ることになつてゐる

京城では記念日最大の行事として總督主催の下に『全鮮產業戰士增產決意宣揚大會』を力强く擧行、全鮮から產業戰士約二千名が府民館大講堂に參集、午後一時小磯總督、板垣軍司令官臨席の下に波田聯盟總長の挨拶で開會、總督、軍司令官から現下の決戰を勝ち拔くべき生產戰力の決勝的增强の士氣を鼓舞する烈々たる激勵の訓示を受け、列席の工場、鑛山戰士代表者からそれ〴〵不退轉の決意を盛つた誓ひの辭を述べる、次いで特別講演に移り朝鮮軍井原參謀長、總督府上瀧殖產局長の時局講演があつて最後に慰問演藝を以て午後四時大會を終幕する

さらに午後六時卅分には本社並に京城府、鄕軍京城府聯合分會の共同主催で同じく府民館大講堂で『米英擊滅大講演會』を開催、朝鮮軍報道部中川五十治大尉の講演と徵兵映畫の上映等があり、國民な米英を完全に叩き潰す士氣の昂揚をはかる、一方本社主催の武裝自轉車部隊は陸軍記念日の十日正午すぎ京城府内に颯爽と入城、朝鮮神宮前の決勝點に突入、閉式の後は隊伍を整へて京城神社、總督府、東大門、黄金町、朝鮮軍司令部前への大市中行進を開始、記念日の感激に湧き上る街を堂々の快速で威容を示し、戰時下若人の潑剌たる意氣を誇示する、そのほか記念日を中心に陸軍墓地の清掃、皇軍への慰問品の發送、陸軍病院慰問、婦人指導者の軍隊見學、大陸軍展覽會、生產力增强、大東亞經濟建設展覽會を催して銃後の戰鬪精神を昂め勝ち拔くための記念日を飾る

朝鮮軍司令部の記念式

光輝ある攻略精神を昂揚して決戰下に迎へる第三十八回陸軍記念日の十日午前九時朝鮮軍司令部では全職員司令部廣場に參集して記念式を擧行、倉茂報道部長から日露戰を回顧し大東亞戰完遂への決意を促す講話あり、終つて板垣軍司令官に從ひ龍山陸軍墓地に參拜、先人の偉業を偲ぶ

あと一息だ、頑張れ
好調一途の十七年度貯蓄實績

あと二旬を殘し十七年度の貯蓄運動に審判が下されるので半島二千四百萬民衆は最後の馬力をかけ、いやが應でも目標額突破に邁進しなければならぬが、九日總督府財務局から有價證券二億圓を除く十七年度貯蓄目標額七億圓に對する十七年四月から本年一月までの貯蓄實積が發表された、これによると過去十ケ月間に六億一千七百廿七萬七千圓に達し目標額に對し八割八分の好成績を擧げてゐる、貯蓄實績を種類別にみると銀行、信託、金組、無盡、郵貯、生命、簡易保險、國債賣却高等いづれも前年度に比し增加してゐるが郵貯預金のみは目標額に一割二分を殘してゐる、これを各道別の實績にみると左の通り

京畿	二六二、〇〇〇	二一七、七三七	八三%
忠北	九、〇〇〇	一一、二五四	一二五〃
忠南	二〇、〇〇〇	二三、二〇三	一一六〃
全北	二七、〇〇〇	三〇、〇三六	一一一〃
全南	四〇、〇〇〇	三七、三三四	九三〃
慶北	四三、〇〇〇	三九、八〇六	九二〃
慶南	七六、〇〇〇	六七、一五九	八八〃
黄海	一四、〇〇〇	一八、六二一	一三三〃
平南	五一、〇〇〇	三九、五〇一	七七〃
平北	三五、〇〇〇	三〇、六九八	八七〃
江原	二三、〇〇〇	一八、九四七	八二〃
咸南	四八、〇〇〇	三九、七三五	八三〃
咸北	四四、〇〇〇	三一、〇八九	七一〃
その他	……	一三、一九四	……
合計	七〇〇、〇〇〇	六一七、二七八	八八〃

難關を一氣に突破
武裝自轉車隊　けふ決勝線へ
本社主催

戰場苑らの熱戰暗に全半島民を熱狂せしめつゝある本社主催『扶餘朝鮮神宮間武裝自轉車隊鍊成大會』も愈よけふ十日府民の熱る聲援の中を最後の決勝線に入る(七一)二千四百七キロ行程を一路に征服した銀輪の勇者は武裝も嚴しく轍を連らねて午後二時廿分京城府内に突入、府民の歡呼の聲と人波とを縫つて神宮大鳥居前に決勝線に入るが、全員の到着をまつて審査閱兵場に閉會式を擧行、鍊成凱の幕を閉ぢる

【寫眞=沿道民の出迎へを受けて鳥致院を通過する一行=松岡特派員撮影】

大田へ怒濤の行軍

【天安にて大山、中村特派員發】かゞやかしき明日への徵兵道に起つて斷乎總完遂に邁進せむとの意氣も高く九日午前九時扶餘を進發した本社主催武裝自轉車部隊は總路二百四十八粁の難路突破を目ざして只管疾風の進擊を敢行した、この壯擧を激勵する沿道忠南百六十萬道民の歡呼の中を本北の先頭部隊は午前十時七分四十一秒早くも第一關門論山を通過、之に續く平南、慶南の各部隊も必死となつてゐる、之よりコースは折柄の雪解けに濡ひされ愈よ險路を極め各部隊の進攻を阻む各部隊はこゝぞとばかり皇軍勇士のマライ進擊作戰の不拔の鬪志を燃やし豆腐運山間の峠道を一氣に突破、大田關門目指して再び怒濤の行軍を敢行、この間特に忠北、全南、慶南各部隊の員擊敢鬪精神は大きく發揮され忠北部隊を先頭にそれ〴〵大田關門に勇しく突入して來たかくて全部隊の到着をまつて午後一時二十四分四十三秒忠北を先發として鳥致院に向ひ全南部隊が先頭を切つて鳥致院に六時五分到着した、全部隊の到着は夜に入つたゝめ續行は不可能となつたので行軍行程第一日の行程は豫定を變更して第四關門鳥致院、天安間を省略して中止のやむなきに至つたかくて全代表は大會本部及び審判自動車の前導でペット・ライトに掩護されて、京釜街道を一路天安へと進み先導部隊は漸く午後十一時五分天安へ到着、最後の部隊が辿り着いたのは十日午前一時であつた

京城へ驀進

【天安にて大山、中村特派員發】熱鐵徵兵制の意氣をたぎらせて本社・朝鮮青年團・朝鮮體育振興會主催の全鮮青年訓練所生徒『扶餘朝鮮神宮間武裝自轉車隊鍊成大會』はけふ十日最後の行軍壯途にのぼる豫定を二時間繰上げて午前八時天安を出發、戰捷輝く大東亞戰下再び迎へる陸軍記念日の感激をこめて一路京城へと驀進、各道對抗戰を經て全鮮十三道及び京城府代表百卅名の若人は午後一時半頃朝鮮神宮大鳥居前の決勝線に突入、こゝに聖地扶餘から長驅決戰下燃ゆる若き血潮を朝鮮神宮に結んで、二百四十八キロの全コースを突破、直ちに朝鮮神宮に參拜して雄健なる大會鍊成の成果を神前に奉告して閉會式を擧行、戰鬪に鍛へられた武裝自轉車隊は銀輪を連らねて市街を堂々行進、世紀に輝いた四日間に亘る大會の幕を閉ぢることとなつた

第三十八回陸軍記念日
米英擊滅大講演會
演題　大東亞戰爭の性格
講師　朝鮮軍報道部 陸軍大尉　中川五十治氏
けふ午後六時半　京城府民館大講堂に於て
映畫…日本ニュース(近着)昭和十九年、空の神兵
主催　京城日報社、京城府鄕軍京城府聯合分會
協贊　社團法人　朝鮮映畫配給社
入場無料　但し子供は御斷り

玄米食の再檢討
各權威を招いて座談會

最近〝五分搗米でもまだ贅澤だ〟といふ聲の下から玄米食が盛んとなり、その營養增加の有利と併せて益々玄米食の價値が認められつゝあるとき、本社では逸早くその方面に深い關心をもつ朝鮮軍、總督府農林局、厚生關係者、修養團の各權威者を招いて玄米食の問題を再檢討するため九日正午から遞信事業會館に軍部から大島主計少佐、同古屋主計少尉、總督府から鹽田農林局長、廣川醫專教授、修養團總本部長茂木各氏に淑徳高女校長、田鶴子貴信僧家政女學校長、金淑玉明女專教授各女史の出席を得て本社側高木主幹、秋尾編輯局長並に盛社會部長出席、玄米食座談會を催したが、先づ一同玄米食の試食後高木本社主幹の開會の挨拶に次いで秋尾本社編輯局長の司會によつて話題は勝頭機本氏の玄米食の體驗からはじめられ津田女史の玄米食の價驗談、黃女史の半島農村の玄米食問題、大島少佐の軍隊食糧としての研究、廣川教授の榮養學的考察、最後に鹽田農林局長は農村事情と玄米食について明かにする處あり、意義深く午後二時廿分散會した

【寫眞=玄米食座談會における試食】

仲々立派だネ
倉茂さん『陸軍展へ』

日本大陸軍の偉容を一堂に展示して〝擊ちて止まむ〟の士氣をいよ〳〵昂揚する總力聯盟主催『大陸軍展』は六日から十四日まで府内四百貨店に開催、連日の人氣を呼んでゐるが九日午後三時半倉茂軍報道部長は傳統陸戰篇の三中井會場から順次視察、同四時徵兵制兵器篇の三越會場にいたり横山次長の案内で場内を一巡、ジオラマの示す强兵生活や敵兵軍裝の陳列に鋭い觀察の眼を注ぎ、同四時半丁子屋會場では平野宣傳部長の說明で棚飾と咲き誇る櫻花の下に展げられた楠正行の史劇に『ウム仲々立派だネ』と感嘆し大規模の展覽ぶりを賞揚して和信會場にいたり銃後感謝の出品を一巡して同五時視察を終へた

祥明實女卒業式

祥明實踐女學校第一回卒業證書授與式は來る十三日午後一時から同校講堂で擧行する

皇民鍊成へ拍車
道内に公立青訓卅ケ所新設

我等も光榮ある帝國軍人になれるのだと來るべき徵兵制の感激を胸に半島青年は新たなる決意と覺悟に燃えて皇國臣民の鍊成にいそしんでゐるが、京畿道ではこれら青年の熱意に應へ本年度は取あへず道内に公立青年訓練所三十ケ所を新設することとなつた、また青年學校の擴充新設を計畫、十八年度は取あへず二ケ所を新設、半島青年層の訓育鍊成に一段と力を入れる、新設を見る訓練所は本月末日までに何れも準備を完了、四月を期して一齊に開所するが新設をみる各府郡では道の指示で教員の配置、新入生徒の募集に着手してゐるが新設を見る府郡は次の通り

仁川(一)高陽(二)廣州(一)楊州(三)抱川(三)加平(一)楊平(一)驪州(一)龍仁(二)利川(一)安城(二)平澤(一)水原(四)始興(二)富川(一)金浦(一)江華(一)坡州(一)開豐(二)漣川(一)

張將軍在城知名士を招待

世界紅卍字會の要務を帶びて來鮮滯城中であつた滿洲國軍事諮議官陸軍上將張海鵬將軍は九日正午より在城知名士を朝鮮ホテルに招待滯城中の好意を謝すると共に今後の滿鮮一如の道義確立について援助を乞ふところがあつた

牛舍も見る熱心さ
小磯總督、忠南北の視察終る

忠南道視察中の小磯總督は九日午後一時公州郡廳を出發、同二時半天安郡成歡面所在の合資會社成歡牧場に着いた、總督は元村天安郡守、成歡牧場社長赤星鐵一氏らの出迎へをうけて牧場内の赤星社長宅に入り、同社長から全鮮でも模範的な有畜農業の典型として知られる同牧場の經營狀況を熱心に聽取したのち、場内にある牛舍の中までいち〳〵見て廻り、かくて忠南北地方巡視第三日の日程を終り十日の全鮮產業戰士增產決意宣揚大會に臨席のため午後三時五十分天安驛發、同五時半京城驛着列車で一旦歸城、十日再び京城發巡視の日程を續けて大田へ向ふ

軍事講演の申込み心得

【東京電話】最近一般民間諸團體などより軍事講演、座談會などの申込みが激增の傾向にあり時局下軍の統帥ならびに指導上の見地に基き陸軍では軍人ならびに軍屬等者出席の場合はすべて陸軍省報道部、各所在所軍、師團兵務部(報道部)または聯隊區司令部を經由して申込むやう陸軍省より各關係團にこの旨示達した

擊ちてし止まむ
日露役戰跡の現地報告　下
龍岩浦を無血占領
今も歷然・侵略の魔手

【龍岩浦にて藤本特派員發】九連城攻略の激戰を偲び感懷胸に迫りつゝ新義州に引返した記者はわが陸軍が戰はずして無血占領した龍岩浦の戰跡を訪れた、風は寒く肌を刺すがこゝも完全に解氷し鴨綠江は靜かに流れてゐる、龍川神社の境内に立てば遙か彼方に安東に連る滿洲の山々が薄く靄に包まれてゐる日露戰役當時までは滿々たる鴨綠江の水が沿岸に押し寄せ帆船を浮ばせてゐたが〝龍岩〟もいまは陸續きとなり龍川神社の裏手に淋しく岩肌を露してゐるなど卅八年の歷史はこの附近一帶を膨大な干潟地と化し漁港もいまは僅かに滿潮時に水脈に流れ込む水により漁船が出入してゐる

だが夏季にはこの干潟地に蘆草が繁茂し製紙工業に一役を買つてスフの原料を供給する等こゝも決戰下銃後增產の培養源となつてゐる、往時を偲ぶ赤い煉瓦のロシヤ式家屋が龍川神社の參道入口附近に七軒名殘を留めてゐる、一軒は壞れてゐるが曾てはロシヤ兵の兵舍であつた家は海運役所となりロシヤ人の森林會社の跡は水產學校に變つてゐるヌロシヤ軍人の官舍跡は寫眞館となり或は龍川神社の神主さんの住居になつてゐる、水產學校前の廣場はロシヤ騎兵の馬場であつたといふ、しかも當時ロシヤは幅員廿間の道路を敷設してゐたのだ、これら名殘を留める遺物をみると當時既に帝政ロシヤの東亞侵略の魔手が如何に根强くわが半島にのばされてゐたかゞはつきりと判るのである

明治卅五年帝政ロシヤは鴨綠江上流の大森林に貪慾の目を注ぎ同年四月龍岩の北側卅四萬坪をニコラエスクと呼稱し森林會社を設置したのがこの地である、當時我外務省は萩原書記官を派して調査せんとしたがこれを妨げたのだ、この時代から日露の風雲は急を告げてゐたのである、當時十六歲であつた現龍岩浦邑長白川敬斗氏は目の邊りに見たロシヤ兵の横暴をかすかな記憶のなかから語るのだつた

明治卅六年私は交通警備を持つてこの地にきたのであるが三百名ほどのロシヤの騎兵があた、白い馬に乘つて龍岩山を駆け登つたり降りたり走り廻つてゐたつた當時日本人は十名ほどゐたと思ふ、ロシヤの兵隊は酒が好きであつた、この地に一軒だけ酒屋があり、そこに誰が一人ゐたが毎晩のやうにロシヤの兵隊はこゝに酒を飲みにきてゐた、酒代として持つてゐたものは紙幣だと僞り煙草の空箱であつたのだから全く無茶な話ですよ、これらのロシヤ兵が引揚げたのは明治卅七年四月一日頃だつたと思ふ、その翌日、日本の軍隊が來た

と讀者をうかべて回顧談を一くさり、さて山口海軍中尉が朝鮮服を着て兵隊五名、半島人を二名率ゐて上陸したといつてゐます

日露の國交斷絶するや明治三十七年四月五日近衞騎兵第一中隊第一小隊長倉少尉は騎兵として兵六名と通譯一名を率ゐて龍岩浦にきたのであるがこの時既にロシヤ軍は引揚げてをり戰鬪はなく無血占領したのだ、九連城陷落に先立つこと一旬半である、その後佐々木騎兵第二聯隊第一中隊副官の指揮により龍岩浦を守らせる五月廿一日兵站司令部を設置しわが陸軍の根據地となつたのでありこゝから半島に渡河した

いまはお覽の通り河は自然に埋れ干潟地となつてゐるが當時は一千トン級の船が出入してゐたのでロシヤは大連の建設にこゝから木材を運んださうです、ときには半島人の苦力を强制的に徵取りしてゐたこともある、こゝを占領した前後だと思ふのですが、

と語り終つた邑長の話に次いで龍岩浦警察署高等主任の山崎警部補は語る

わが部隊は九連城攻略の一翼をなしたのである、龍岩浦の占領にしろ、滿洲の撤退に占領にしろ〝擊ちて止まむ〟の傳統の攻擊精神が發揮されわれらの父が兄が祖父が打ち樹てた勝利の記錄であり、大東亞共榮圏建設の礎石を打ち込んでくれた大いなる遺業であるのだ陸軍記念日の今日新たなる感慨をもつて感謝すべきである、そしてこの遺業をわれらは擴張し仕上げることが大東亞戰爭の完遂であり、そのための銃後增產であり何にが何んでも勝ち拔く決意をいよ〳〵强固にすべきである(終り)【寫眞=日露戰役當時の龍岩浦港】

ぢ　各種難痔疾根治　京城　完山

擊ちてし止まむ!　一億がこの決意で戰ひ拔かう勝ち拔かう　戰局に事務に勉强に　トンボ鉛筆

國債 債券 株式 賣買 金融
投資て築け大東亞　國債・債券・株式の賣買御相談に應ず　有價證券業　東京府民館前　富士屋債券株式會社

事務所移轉廣告
私儀先年京城地方法院檢事ヲ退官シ爾來仁川ニ於テ辯護士業務ニ從事致居候處今般其事務所ヲ京城府唐珠町七二番地(電話光化門三ー五一〇番)ニ移轉シ引續キ辯護士業務ニ從事スルコトト相成候間何卒從前同樣御支援御敎導賜リ度乍略儀紙上ヲ以テ御挨拶申上候
辯護士　從六位勳六等　香川尚珏

歷史と傳統の切味　菊一文字謹製軍刀　在庫品豐富　カタログ郵券十錢　手入具一揃一圓二十錢　京都・伏見　桃山御陵道　菊一文字

南京城工學院(夜間)　土木科・鑛山科・教員科・中等科　生徒募集

興亞實務學院　生徒募集　學則請求要四錢切手

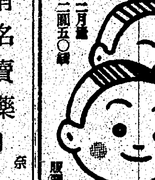
朝鮮工業技術學院　土木科、機械科(晝、夜間)

京城鐵道學院　生徒募集

官認　京城實踐簿記學院　生徒募集

月やく　とどこうりお困りの方や御心配の人　中尾本家

あまい ビタミンA・D　糖衣 ビタミン



風の子　風邪ひかぬ　毎日一粒お與へ下さい。皮膚や呼吸器が丈夫になつて冬が安心です。

有名賣藥　衛生雜貨卸　深田順弘堂

斷然!! 從來のパッキングを凌ぐ!　國華パッキング　各種國産パッキング在庫豐富　片山商事パッキング部

皮膚科　泌尿科　性病科　鷲海醫院

ミニオル

頭をよくせよ　昭和學會

規格用練教　五連銃　擲彈筒　機關銃　製造及修理

朝鮮唯一の製造所　國產兵器工業株式會社

看護婦生徒募集　日本高周波重工業株式會社　城津高周波病院　看護婦養成所

工員緊急募集　咸鏡北道淸津府　淸津職業紹介所

技能者養成所生徒募集　咸興職業紹介所

新京市内電車車掌募集　京城職業紹介所

擊ちてし止まむ!

シマズにヨクキク　大學目藥　大阪・北濱　參天堂株式會社

記念日中心に赤誠は沸る
赤襷の金屬類
武官府に續々殺到す

大詔奉戴日から陸軍記念日にかけての京城海軍武官府へ持込まれる金屬献納品は實に夥しい數にのぼり『撃ちてし止まむ』の府民の決意を顯示してゐるが、八日府内校洞國民學校生徒の真鍮食器、火鉢類千六百點を初め、東星商業三十點、仁川商業三十點、同仁國民學校四百點、府内若草町馬場秀藏氏三十點等があり、九日には江原道華川警察署が五千三百點をトラックに山盛りして持込んだほか、仁川府花町第二聯盟及び府内同上女子實業學校生徒が何れも數千點をトラックで運搬して武官府係員を瞠目せしめ總數四十口に及んだが、十日も大口献納が申込まれてゐる【寫眞=トラックで運ばれた同上女子實業の献納金屬の山】

しい行ひに感激してゐる

新設町三六〇二昭和被服工場職工一同は給料の一部を割いて貯めたものが金廿圓廿錢にもなつたので、九日東大門署を通じて献金寄託した

◇

氣候が暖かくなるにつれて街の塵芥物が殖え、傳染病が發生する憂があるので、永登浦青年隊北部分隊では『我らの街は我らの手で清掃しませう』と去る七日午前九時から齋田分隊長以下男女隊員六百四十名が總動員、裏町の隅々に至るまで山と積まれた塵芥物を悉く清掃、午後五時過ぎこの塵芥の中から金屬品を拾ひ集め、その金屬品を賣つた金十六圓をそつくり北部町會を通じて國防献金した

◇

陸軍記念日を迎へた九日軍愛國部へ寄せられた府民の赤誠は左の通り

▲十五圓卅八錢楊州郡議政府邑議政府里金山政虎▲五十圓同平沼政達▲百圓同平沼俊秀▲廿七圓廿一錢同平沼貞子▲十圓六十錢鍊兵町櫛野智鶴子▲十圓四十二錢議政府邑議政府里成允鄕▲十圓漢江通二丁目三三一宮地陽子外三名▲卅圓六十五錢漢江通二丁目つるや倉庫從業員一同▲五十二圓八十錢漢江通二丁目第六區愛國班献金者一同▲廿三圓十錢桑町一松浦ヨネ子▲十四圓九十九錢龍山町四ノ七福本貞二▲廿二圓高陽郡中面一山里村上本一▲五圓西桑町一六金鍾詳▲四圓八十二錢元町一ノ一八今津悅太郎▲二圓十錢南大門國民學校五年四組渡邊雲子▲十二圓廿五錢櫻井町二丁目一七三大塚ハナエ▲四十八圓八十九錢元町國民學校愛國部▲四十圓八十七錢漢江通二丁目日山ヌイ▲十三圓四十五錢岡崎町第三區第二十班一同▲二圓九十三錢龍山町四ノ七五島佐喜子▲一圓廿六錢龍山町四ノ七橋本勇松▲廿九圓八十一錢漢平町朝鮮松▲六萬龍池株式會社從業員一同▲六十九圓五十五錢三角町八九漢榮中學院職員生徒一同

一千圓献金

京城府會議員崔山顯香氏は、過日府派遣の陸軍感謝慰問隊第三班々長として高陽、長湍を慰問したが、戰時下の食糧政策に協力して米穀供出に努力する農民の真劍な姿に感激、八日海軍武官府を訪れ金一千圓に鍮器五點を添へて献金した

献金一束

九日、鍾路警防團に廿位の牛島若一年が訪れ、"恥かしいですが國のため役立たせて下さい"と五十錢銀貨に一錢銅貨を取り交せた金十圓十二錢を差出し名も告げずに立ち去つたが、同本部ではこの心底に

"清掃陣"を強化
厨芥は府で特別拾集

首都府民の手近な錬成はまづ道路の清掃から……京城府では府民の衛生向上計畫として近く府民總力の計畫を進めてゐるが、一方衛生思想の普及徹底を圖る意味で各愛國班に對して十八項目に亘る清掃作業の心得を示達、同時に府でも四月から厨芥、塵芥の分別蒐集に徹底を期して拾集日の短縮を圖ると共に道路清掃には各種設備を強化、來る冬こそ汚れた街の様相をこの京城から拂拭することゝなつた、これによると厨芥は各町の申出によつて府が時別に拾集、豚の飼育に充てることゝなつてゐるが、これは、一石二鳥を狙つたもので一般家庭については、なるべく愛國班内で處理して少しでも芥の排出を尠くさせるために東京市において行はれてゐる『厨芥展』を京城でも開いて一般府民の關心を求める計畫が持上つてゐる

在郷軍人永登浦分會時局講演會

決戰下に迎へる陸軍記念日に在郷軍人永登浦分會、永登浦警察部共同主催で十日午後三時から永登浦劇場で軍部から將校を招聘して時局講演會を開催、時局映畫も上映して一般市民に時局認識の徹底を圖る

西本願寺の記念法要

若草町西本願寺では十日の陸軍記念日に當り午前七時から戰歿英靈追悼奉安殿で小林朝鮮開教總長外全職員が出仕して記念法要を勤修、終つて全職員は戰歿勇士の遺族宅を訪問し、靈前に參拜感謝の誠を捧げる

日婦榮町分會の遺家族招待映畫會

日婦榮町分會では記念日の十日陸軍墓地に參拜、清掃作業を行ふがこれに先立ち九日午後七時から城座に同町内の遺家族百餘名を招待して映畫會を開催、第一線に我が子、我が父、我が夫を送つた遺家族を心から慰めた

朝映の遺家族招待映畫會

十日午後七時から京城公會堂で朝映、道興行協會主催の遺家族招待映畫會開催、田中朝映社長挨拶、軍報道部員講演、朝映作品の『朝鮮に來た俘虜』その他を上映する

藤花女塾生の白衣勇士慰問

若草町西本願寺の藤花女塾生廿名は小林院長外職員引率の下に十日陸軍記念日午前十時半龍山陸軍墓地に參拜して、戰歿英靈に感謝の誠を捧げ、午後一時から龍山陸軍病院に傷病兵を訪れ、音樂舞踊等で白衣の勇士を慰問する、なほ藤花幼兒園兒もこの日園長、保姆に引率されて陸軍病院を訪問、可愛い踊りや遊戯で兵隊さんを喜ばせる

京城音樂研究院開設

龍門專門學校玄濟明教授は今度新進樂人の指導に乘り出すこととなり、京城大和塾の後援で來る四月一日から竹添町三ノ八同塾内に京城音樂研究院を開設する、聲樂は玄濟明、金天愛、ピアノは金永義、ヴァイオリンは金生麗、作曲及び樂理は金聖泰の諸氏が擔當教授する

一般會計豫算可決
京畿道會自然休會へ

去る六日から開かれた本年度京畿道のお臺所を賄ふ道會第四日は九日午後一時から開會、高龍長以下四十二名の議員出席、前日に引續き昭和十八年度歲入出豫算の説明について審議に移り、議員側から通信の現狀にある木材、薪炭材の將來の所感、或は米穀增産、蔬菜の供出、河川工事などについて率直な質問を浴びせ、これに對し當局は叮嚀な説明を行ひ熱心な質疑應答が繰返され、引續き建議案四件を廿三名の建議員によつて審議此處に總議案廿四件二千六百八十七萬六千餘圓に及ぶ一般會計豫算を滿場一致で可決、決戰二年に備へる道民の真劍な意氣を盛つて本年度道會は終始緊張裡に同五時半散會自然休會に入つた、なほ休會中議員一行は十日午後一時半京城驛發仁川に向ひ同夜は仁川に一泊して十一日仙甘島を視察同日夕刻仁川で散會する

砂糖の配給
今後は食料品卸商業組合で行ふ

京畿道内における砂糖、小麥粉、食用油などの統制品は從來京畿道砂糖配給協議會が配給を行つてゐたが、今回右配給權を京畿道食料品卸商業組合へ移讓することになり、このほど正式授受を終つたので、同組合では三月分から右三統制品の都賣配給を實施することになつた、なほ京畿道地區の三月分砂糖配給豫定數量は約一萬三千ピクル(千五百萬斤)である

清掃、粥食、金屬、交通道德等
三月の愛國班常會申合せ事項

三月の京城府内愛國班常會申合せ事項が九日各町聯盟宛通附された

實踐事項 清掃、粥食、金屬供出、交通道德の國策と實踐

周知事項 陸軍記念日について戰歿者の慰靈祭執行、若草町西本願寺、龍山東本願寺、同大念寺にそれぞれ今年始の戰歿者英靈が安置されてゐるのに對して力めて參拜、庭先や空地に一坪作の勵行

×

質問戰續く
京城府會第三日目

京城府會三日目は九日午後一時から開會、土木、社會、鍊成、消防衛生各議案について相當突込んだ議員側の質問が行はれた、劈頭若林議員から『開渠を暗渠にしてから地下水の水位が高くなつたがこれに對する方針如何』との質問、續いて關根議員が『電車路線の撒水は京電自身にやらしては如何』と京電に攻撃の矢を向けたが三時四十分休憩に入り同五十分再開、衛生、清掃二問題を中心として華かな質問が開始された、まづ上原議員が起つて『京城市街は結核豫防所のやうだ』と罵しつゝ府の結核對策に對する具體的方針を質問、これを皮切りに山中議員が『今日まで五萬圓にのぼる汚物蒐集の研究費を要して如何なる結果を得たか』また楯林議員による屎尿流送施設による近郊農村への肥料供給は萬全か』さらに南條議員から『公設浴場の設置計畫はないか』など、府民の衛生に直接影響する懸案事項が次々と解剖されたが、これに對して眞田府理事から處理には萬全を、屎尿處理については近郊農村に肥料として十年間提供、道路清掃は愛國班の協力で府自體も積極的に乗り出す意向を表明、汚物處理調査はさらに科學的研究を進め、公設浴場の設置に關しては、最近の各私設浴場が人口に比例して著しく不足の狀況にあるので必ず實現を約束、なほ前項の各種濱田理事の答辯に對して議員席から古市府尹も補足的答辯があつて同五時散會、三日目を終了した

明太子に膏土樽が登場

【洪原】東海岸の明太子漬は食卓の寵兒としてつとにその聲價が全國的に謳はれてゐるが、これに使用する木製樽は相當らず粗製で中味容器の漏出、減量があるのでこれらの缺點を是正するため無名の一青年によつて膏土による樽製容器が考案され相當の注目を惹いてゐる 洪原邑明太子漬組合副組合長永原誠勝氏は明太子漬外各種漬物容器の不備を遺憾とし之が製造輸送上の缺點を除去すると共に戰爭目的遂行のため動員さるべき重要物資の節約轉換を期しかねて膏土による樽製造に苦心研究中であつたが、つひに結實一月七日附で實用新案登録を申請中であるが、この膏土製樽容器は從來の輸送中途における汁液出による損失を除去すると共に完全に輸送に耐へ得るやうに作つてあり採算も極めて少いといふ理想的のものであつて從來の木製樽に代つて登場の日を期待されてゐる

今様『沈清』後日譚

【新義州】去月十八日附本紙が報道した今様"沈清"新義州の記事が本紙半島綜合版によつて内地に知られるやその可憐な孝行に感激、この程同封金一封を匿名で送り寄せた奇特な人がある 新義州蜜井國民學校六年金村蓮球さんの親孝行美談は各方面に多大の反響を呼び起し同孃への醵金の數を增めたが更にその當日には『別紙京日二月十八日附半島綜合版掲載"今様沈清"金村蓮球さんへ茲に同封して下さい』とあり小額五十圓を添付して去る七日同校に配達された、この封筒消印には小石川とあるので東京人士は確かだが、住所記載なきため本人を知る術もなく蓮球さん初め石井校長以下職員は感激するにも方法がないので鄭重に扱いてゐるが石井校長は匿名氏の厚意に答へ早速蓮球さんに傳達し次のやうな感謝の辭を語つた

金村のことが内地まで知られその上暖い志に接したことは誠に感謝に堪へません早速匿名氏の意のあるところを本人に傳へ有難く頂戴するやうに言ひ聞かせ今後更に孝行に努めるやうに激勵しましたがこの氣持を匿名士に傳へる方法もなく困つてをります

銃劍術振興會結成

【元山】銃劍術を一般民衆に普く普及して大いに戰場精神の振起につとめようと今度元山府ではけふの陸軍記念日を卜し銃劍術振興會を結成することとなりけふの陸軍記念日を卜し發會式を擧行する

家庭燃料 無煙炭の焚き方
京城鑛專校長 大森貫一

無煙炭の使ひ方 しかし家庭で粉狀無煙炭を練炭同様に使ひこなせるかどうかといふことが問題であります、これは工夫すれば全く練炭同様に使へるのであります、簡單な實例を申しますと、粉狀無煙炭を燃料店から買ひ入れて、コンクリートの土間あるひは適當な平たい板の上に擴げ、これに二割程の水を少し宛撒きながら、無煙炭を混ぜ合すのであります、すると粉狀無煙炭の中、最も微粉末のものが水と糊を作りますから、これが無煙炭同士の繋ぎの役目、すなはち粘結劑の役目を果してくれて、全體が恰好な塊狀になります、無煙炭と水との混合練り合せは出來るだけ充分にすることが必要であります、充分にする程粘り方が強くなります次に木片か何か、豆炭位の塊に搔き取り固めて炭團にして、日照で乾かして置けば、燃燒程度くはなりませんが炭團のまゝで燃燒なり風呂竈なり、溫突の焚口に投げ入れても粉末にはならずに使ふことが出來ます、水を加へて練り合す時に粘土を混ぜると、塊は一層強い堅いものにすることが出來ますしまた家庭に粉糠とか藁屑とか落葉が有ればこれを無煙炭に混合することも一つの工夫であります(完)

大いなる祭【88】
中野實(作) 三芳悌吉(繪)

同志の歌(七)

『だって』

と白鬮は冷い唇をひらいて云つた。

『無線の機械が故障で、うまく連絡がとれないんですよ』

すると、横から、張三傑は忌味たつぷりな調子で、

『故障ね』

と呟くやうに云つて、上眼づかひに白鬮をみた。

『故障なら、仕方がございませんがね。が、今日か明日澳門から、代りの部分品を持つてくる筈ですから、一つお願ひしますよ』

と、顔は起ちかけながら、

『とに角、歐先生の方はもう一つよく調べて手廻ししますから、早いとこ、ドカンと一發お願ひしますさあ。おやあ張さん、おれはかへるよ』

顔を殘り出して、張は、ふたゝび白鬮の前に姿を現はした。

『白鬮さん』

それはさうと何時までもあの荷物を』と顎で三階をさして、『あのまゝにしておくつもりなんだね』

『待つておくれ。あたしにも考へがあるんだから』

『考へて』と張はからむやうに、『いつまでも御ほかの連中に默つてるわけにも行きませんぜ。あんたの弟だと知れたら、あたしも困るんぢやないでせうかね。重慶爆撃が遅れてゐるのも、つまりはあんたの弟が、無線の機械を壞したからでせう』

『それがどうしたといふの』

白鬮は、突つかゝるやうに言つた。

『どうしたも、かうしたもありませんや、この張が、一口喋舌つたら、みんな默つちやあゐねえといふんですよ』

『張さん、あんた、あたしを脅かすつもり?』

白鬮の聲は険しかつた。

『脅かすなんて、そんな、なにも喧嘩腰に云はないだつて……へへへ』

と張は狡猾さうに笑つて、

『弱つたね、どうも』

わざとてれかくしに頭をかきながら、

『あつしやあ、あんたの味方ですよ。その味方の弱味につけこんで、何を脅かしたりするもんですか。たゞ、それぢやあ結社の統制が…』

と云ひかけるのを、白鬮は制へるやうに、

『判つてゐます、あんたは、あたしに、自分の弟を殺す勇氣がないと思つてゐるのね』

『いゝえ、なにも……』

『いゝえ、さうなんだわ』あんたはさう思つてゐるんだわ』

白鬮は、蔑さみながら、と起ち上り、

『あたしにだつて、それくらゐの勇氣はあつてよ。どうしても、弟が、あたしたちの仕事を邪魔するといふなら、決して生かしてはおかないわ』

『生かしておかないと云つても、白鬮さん、御本人は生きちやあゐないつもりらしいですぜ』

『……』

『さつき、あつしがこつそり行つて見たら、昨日の飯がまだそのまゝ手もつけずに殘してありましたよ。ガンヂーの二代目をやるつもりでさあ』

『あたしは生かしておかない。張さん、見てゐておくれ』

ラジオ 10日

朝 午前七・〇〇『神武天皇御製謹誦』(録音)吉村岳城 『撃ちてし止まむ』陸軍中將西村琢磨▲九・三〇(城)國民學校放送、朝禮訓話(録音)『陸軍記念日に際して』陸軍大將吉田豐彦▲九・四〇(城)戰時家庭の時間『戰ふ國の女性』第二放送部長毛允淑▲一一・〇〇(大)國民學校放送『三年生の時間』安田利一(お話と音樂)(三勇士)大阪放送管絃樂團

晝 正午(城)歌 ニュース(國語・朝鮮語)▲一・〇〇(城)全鮮産業戰士增産決意宣揚大會實況-京城府民館より中繼-▲二・三〇(城)朗讀(朝鮮語)"銃後のたゞ"編並に朗讀吳島進

夜 ▲六・三〇 合唱 日本放送合唱團▲七・三〇(城)愛國班常會の時間一、宮城遙拜一、歌謠一、講話國民總力朝鮮聯盟宣傳部長 『撃ちてし止まむ』 津田剛(譯)國民總力朝鮮聯盟主事金永泰年▲七・五〇(城)全鮮産業戰士增産決意宣揚大會における小磯朝鮮總督激勵の辭(録音)板垣朝鮮軍司令官激勵の辭▲九・四〇(城)初東國語講座新羅苑子▲一〇・〇〇時報・今日の戰況とニュース

京日案內

案内料金(前金)	
種別	一件一回稅込
一號型(三行)	金參円參拾錢
二號型(五行)	金五円五拾錢
三號型(十行)	金拾壹円
求職 一號型	金壹円六拾五錢
姓名在社料 毎一回	壹円拾錢增シ

姓名在社の御照會は午前九時より午後五時まで廣告部へ御問合せの事

一號型(三行)
筆耕 生及び熟練印刷工急募 京城府鍾路二丁目七十七朝陽ビル三階南プリント社 電光九九八二
賄付 八疊の空間あります御勤人二人連以上の男の方を望みます 永樂町一ノ二九 佐々木
ピアノ讓る 府内三角町八三 前食道園横 中村
電話光化門局讓る 御希望の方は左記へ 笠井町二七ノ一〇 岩本
求職 高普校卒會計及記帳事務方面 京城府齋洞町四ノ六九 廣田方 金
電話 讓りたし 電話(東1924)へ御照會乞

二號型(五行)
藥業に經驗ある青年店員を求む 給料面談 市内…(?)藥局
賣工場求む ガス、電動力付 三百坪内外 仲介人不要 電話本局六四六五番
貸店舖 漢江通り電車道 御希望の方は左記へ 電話龍山七〇八番
齒科醫 中本齒科醫院
通勤女子事務員 明治町 旅館
求貸倉庫 京城府本町通
賣工場 京城府明治町二丁目 靑龍五
女事務員採用 京城府…
洋裁職人入用
女事務員 京城府西小門町三六 東亞ホテル
洋裝 京城本町二ノ一 タカラ洋裝店

三號型(十行)
少女募集 植村藥品株式會社
タイピスト採用 おたふく商行
タイピスト採用 カーバイト協會
出張所長招聘 愛國生命京城支部
バス運轉手募集
男子事務員採用 大日本紡績 京城人事係

家政婦募集 姓名在社 五十七號
女子事務員募集 朝鮮紡織
洗濯原液 新井商會 カセイソーダー洗濯石鹸に優る 國策的代表品
タイピスト募集
花柳病專門 包皮正形 松野醫院
夜光塗料 鮮內唯一專門店 朝鮮夜光
野菜種子專門 カタログ進呈 大陸種苗園
有名な京都の 発疫鐵分讓
面紗硝新型豪華 自動車使有り 新禮式 中央禮式部 京城府西大門一丁目
資本減少公告 朝鮮起業株式會社
新品一切・特別大奉仕 結婚 半島禮式部
荷造と運搬 資材完備 紀新組
粉末洗劑中の王者 專賣特許 コーア洗濯の素
吉和商事
今日入荷 純支那産明水一本太葱 純支那産赤長廿日大根 純支那産三尺胡瓜
大陸種苗園
犬猫牛馬診療

浪花館 九日ヨリ上映 ニュース 文化映畫 世界の王者(ワルター・ヤンセン) 右門江戸姿(嵐寛壽郎)
新富座 十日ヨリ四日間 松竹映畫特作 鳥井強右衛門(小杉勇 月形龍之助 水戸光子 原保美) 植物感應現象 日本ニュース
東洋劇場 三月十日ヨリ 青春座公演 金健作 新版『春香傳』五景十一場 演出:洪海星 装置:元雨田 金善星
喜樂館 三月九日より 日本ニュース 水中測的兵 二人姿
京劇 十日陸軍記念日特別番組 燒夷彈・戰車 清水港
城寶 三月九日ヨリ十四日マデ 日本・朝鮮ニュース 燒夷彈 雪之丞變化
鍾路文化劇場 日曜祭日八時開場 六日ヨリ十日 日本少年 ホームグラフ 我等今ぞ征く 五作ちいさん 日本ニュース
明治座 九日より 朝鮮時報 日本ニュース 燒夷彈 暖流
京日文化劇場 八日ヨリ十四日マデ 1朝鮮時報 2朝鮮に來た俘虜 3戰場富士山 4北の護り 5日本ニュース
若草劇場 三月八日より十四日迄 燒夷彈 日本ニュース
城南劇場 九日ヨリ十三日マデ 神變麝香猫 大會 日本ニュース
中央劇場 九日ヨリ十一日マデ 文化映畫 航空無線 山まつり梵天唄 戰線江萬キロ 佛蘭西座(イヴォンヌ・プランタン主演) 日本ニュース
和信映畫館 四日より十日まで 日本ニュース 文化映畫 昭和十九年 松竹大船作品 荒城の月
朝日座 七日より五日間 漫才 歳名流會
桃花劇場 八日ヨリ上映 日本ニュース 文化映畫 空の教室 新雪
大陸劇場 九日ヨリ 日本ニュース 水中測量兵 二人姿

柳屋ポマード 心も頭も明朗に! ヘリ切つて戰ひ抜きませう 東京・日本橋 柳屋本店

城寶 輝く第三十八回陸軍記念日 撃ちてし止まむ 上映中 次週 ハナ子さん 文化映畫 戰車 燒夷彈 雪之丞變化 京城寶塚劇場

外科 白麟濟病院 京城永樂町二ノ八五 電話本局②〇二七〇・八七四七
登録商標 專賣特許 鈴江特許事務所 東京小石川區江戸川町一
せきにパラコニン液
内科 X光線科 一般 普通病室 隔離病室 佐藤内科 佐藤小九郎
竹製暗幕カーテンレール 文房具 卸商 東光堂 京城府齋洞町 電話③三三七〇番
警備員募集 朝鮮アルミニューム工業株式會社
朝鮮殖産銀行
資産信用調査 結婚調査 帝國興信所京城支所
良い品質の ミシン レオリミ 國産優秀機 萬稔ミシン商會 京城府南大門通一丁目九九 電話本4011
かぜに一服 別府散 家庭の常備藥
齒痛 セドノン
ツイラモルデ はぷっぷ…ミナカ 感冒 咽喉カタル 濕布は三十分でよい 作用は長時間つゞき 體内の免疫體を昂め 熱を下げ充血を去り 速やかに痛みをとる 理想的濕布療法です 藤澤友吉商店
三省調血精 女性疾患 漢方藥 の効き目は神秘的なものとされてゐる本劑は婦人科疾患に專用の最高貴藥、漢方藥に更に新藥數種を配劑せるものにして幾多の實験を經たるものだから絶對確信を持つて推奬す。
六一〇ハップ 一浴のこの滋味! 一日の勤務を終へて 丈夫な體力 湧き立つ氣力 一家は樂しく明るく 保温満点 眞から温まる!
京城婦人病院 産婦人科 ラヂウム科 レントゲン科 院長醫博 松本恭治 ドクトル 工藤武城 北米倉町九四 電②四八二
ニキビが取れて色白くなる

夕刊 京城日報
京城府太平通一丁目三十一番地 發行所 合名會社 京城日報社

万年筆用 インキ ワグナー

ハリコフ包圍態勢
獨軍、南郊に進出
ソ聯防衛陣地を突破

【ベルリン特電八日發】東部戰線に於ける獨軍の主要作戰は依然南部戰區において展開されてをり、この方面の獨軍機甲部隊は再び來襲した寒波と吹雪を冒してハリコフ西方ならびに西北方に於て攻撃を續行着々戰果をあげてゐる、即ち獨軍部隊は重要地點數箇所においてソ聯軍防禦線に突入し重要地區を占領したが、この作戰によりハリコフ地區のソ聯軍は數本の鐵道と重要街道を喪失した、又敵陣背後地區における掃蕩戰を通じ獨軍の得た捕虜は次第に增加しつゝあり、獨軍の一步兵部隊のみでも半ば飢餓狀態のソ聯兵三千以上を捕虜にしたと傳へられる

【ベルリン八日同盟】前線からの報道によればハリコフ南方地區の獨軍は赤軍戰車第三軍を殲滅後直ちに北上進撃を開始し、八日ハリコフ市南郊に進出したと傳へられる、一方ハリコフ西北アフチルカ方面から赤軍の頑强な抵抗を排除して進擊した獨軍部隊はハリコフ西方二十乃至二十五キロの地點に到達したといはれ、獨軍は兩方面から漸次ハリコフ包圍の態勢をとつてゐるやうである

對戰車砲に新兵器
獨軍、一擧六十臺擊破

【ベルリン特電八日發】八日ドイツ總司令部發表は最近の東部戰線における獨軍反撃の一般情勢と見合せて注目を集めてゐる、右によればオリヨール附近において數日來ソ聯の攻撃に對し頑强に抵抗してゐた獨軍部隊は七日來襲せる敵戰車九十台中實に六十台の多數を擊滅したといふ大戰果を收めた、右の如き多數戰車の擊滅はドイツ側の對戰車防禦手段、特に對戰車砲等に何等かの新工夫が加へられたのではないかと推察されるものがある、從來東部戰線において獨軍の最大の惱みの一つであつたソ聯軍戰車に對する防禦については屢々獨軍當局の論議の種となつたが、この方面の改良進步に非常な努力が拂はれてゐることは當然のことであらう、過日獨外務省シュミット情報部長もドイツは斷じて敵に膝を屈せずと聲明した際「ドイツは今や新しき力を蓄へつゝあり」と暗に新武器乃至新攻撃について何等かの新工夫準備をなしつゝあることを暗示したが、今回の戰果と思ひ合せてうなづかれる節がある

隨所に赤軍擊退
獨軍の防衛作戰奏功

【ベルリン八日同盟】獨軍司令部は八日つぎの戰況報告を發表した

東部戰線 一、獨軍はハリコフ西南地區において、攻擊を續行し赤軍の抵抗を粉碎しつゝハリコフ市西方地區に進出した

一、赤軍はオリヨール地區數ケ所において、獨軍陣地に對し反復攻擊を試みたが、何等の成果を擧げず擊退された、數日間にわたり重大な防衛作戰に從事してゐた獨軍裝甲軍團は七日に至り顯著な成功を收め、地上戰線において赤軍の戰車八十六台を破壞し、空軍も赤軍戰車八台を爆擊により擊碎した

一、中部地區においては赤軍は多數の地點で獨軍防衛陣內に突入を試み、獨軍の行動を妨害しようとしたが赤軍は隨所に擊退され甚大な損害を蒙つた、獨軍は二日來豫定の計畫に從つて戰線を短縮してゐるが、右方針に基きスツチェフカをも赤軍からの壓迫によらず撤退した

一、イルメン湖南方の防禦戰は依然熾烈に續行されてゐるが、赤軍の攻擊は獨軍の防禦砲火ならびに空軍の徹底的爆擊により悉く失敗に歸した、同方面の赤軍は有力な砲火の掩護下に多數の戰車を驅使してゐるにも拘らず、獨軍のため甚大な損害を蒙りさらに赤軍地上部隊と協力する多數の戰鬪機中六十機は獨軍戰鬪機ならびに對空砲火のため七日擊墜された

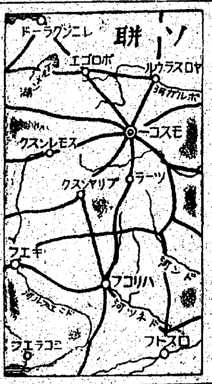
獨機、倫敦周邊等を猛爆

【ベルリン八日同盟】獨軍當局の言明によれば、獨空軍は七、八の兩日にわたりサザンプトン、イーストボーンの各都市ならびにロンドン周邊を爆擊した

一、獨空軍爆擊機編隊は七日夜約三十分にわたつてサザンプトンを空襲、挑戰し來つた英戰鬪機を排除しつゝ阻塞氣球をくゞり拔け、市の中心地區に重爆彈多數を投下して大損害を與へた

一、獨空軍の高速戰鬪爆擊機隊は七日正午イーストボーンを爆擊多數の家屋を破壞するとともにイーストボーン停車場、放送局に爆擊を加へ全機無事歸還した

一、獨空軍は八日ロンドン周邊を爆擊した



荒鷲、メラウケ爆擊

【リスボン八日同盟】メルボルン來電=西南太平洋反樞軸軍司令部は、日本航空部隊が七日ニューギニヤ島のメラウケを爆擊した旨八日發表した

激戰のあとに花束
"蘭軍降伏の家"を訪問

【ジャカルタ八日同盟】昭和十七年三月八日全蘭印軍がわが軍門に降つてから早くも一年、記者は全蘭印軍降伏の地であるジャカルタ外カリジヤチに至り昨年三月八日前蘭印軍司令官テルボールテン中將が總督スタルケンボルグとともに全面降伏の申入れを行つた日蘭軍會見の家を訪れた、戰前日本人にほとんど知られなかつたといつてもよいこの一小村が、世界戰史の一頁に特筆さるべき全蘭印軍が全面降伏を誓つた歷史の地として大きく世紀の脚光を浴びたのである、當時敵の最後の據點であつたバンドンが四方から包圍され、その運命が時間の問題となつた三月七日蘭軍テルボールテン中將は降伏申出の軍使をレンバンまで攻め寄せた東海林部隊に派遣し、翌八日わが今村最高指揮官以下幕僚と蘭印總督スタルケンボルグ、テルボールテン中將、ペスマン參謀長の兩軍の首腦部の會見が行はれたのであつた、この日カリジヤチ飛行場にはわが荒鷲に擊墜された敵機がまだ黑煙をあげて濛々と燃えつゞける凄慘な激戰の跡へ綠色のスマートな車で總督と陸軍長官が會見場所にやつて來た、太陽がまだかんかん照りつけてゐる午後四時頃であつた、それから一時間半今村最高指揮官以下幕僚が到着し、同六時から總督以下に對する引見が行はれた、會見の家は三月一日カリジヤチ飛行場を占領以來進藤部隊長が一時宿舍にあてた小さな住居の一部屋であつた、かくして夕闇が迫る高原の一角で會談が開始されたのであるが、今村將軍の言葉が一句々々敵の首腦部に鞭のやうに打ち込まれ、會談二時間にして遂に全面的降伏となつたのである

今記者が訪れた飛行場事務所の當日の會見場所奧まつた細長い洋間のテーブルを圍んで正面向つて右に今村最高指揮官、〇〇參謀長、進藤部隊長の三將星その後に幕僚が控へ、それに對して司令官の正面に蘭印總督、左に陸軍長官、右に參謀長その背後に敵の幕僚が並んだのだが、その時使用したテーブル、椅子は今もそのまゝに歷史の家として保存され入口には『日蘭停戰協定の跡』と墨痕鮮かに書かれた高さ一間位の木牌が立ち誰が捧げたか白い花が飾つてある、家の附近にある整備兵舍の青い家も背丈よりも高く延びた草の中に埋もれてゐる靜かな風景である、しかし一年前この地が如何に凄慘であつたか、現在飛行場の隅に山と積まれてゐる敵飛行機の殘骸、故障甲車の群が激戰の一端をまざまざと物語つてゐる、裝甲車はカリジヤチ飛行場占領後、飛行場地上部隊として活躍した〇〇部隊が三月二日飛行場奪回を企圖して逆襲して來た敵戰車隊を肉彈で擊碎した奮戰の記念品である

同地から車で十分、スバンといふ小ぢんまりした街がある、この街外れに嘗て英國アングロダツチ會社のP・M・T農園がある、現在O・B・N・T農園と改め軍政監部管理となつてゐるが、このゴム林の中には一年前日蘭兩軍の激戰が行はれたところでしたたるやうな綠の葉は彼我の鮮血に染つたのである、いまはゴム林の路に「日蘭激戰の地」と小さな碑が立ち、數基の墓標が立ち、その傍らに蘭印軍將兵戰死者の墓標もあつて蘭國內の墓守りが毎日綺麗に掃除をし花を備へてゐる、ゴム林の中を三々伍々花束を持つた住民が勇士の死を弔ふべくスバンの街からやつて來てあとからつゞいて來た記者も原住民とゝもに默禱を捧げた

原住民に登龍の途
ジャワに新官制創設

【ジャカルタ八日同盟】ジャワ軍政監部では原住民官吏をして民衆教導の先達者たるの責任と衿持とを高く保ち、かつ大東亞戰の眞義をよく理解して征戰協力の決意をさらに昂めしめるためジャワ軍政施行一周年記念日を期して新官制度を創設すべく目下成案を急ぎつゝある、この制度は原住民官吏の身分とその生活を保障し、彼らをしてジャワ建設に挺身せしむるやう從來の蘭印官吏制度の弊害を一掃しかつジャワの實情を尊重しつゝ新しき大東亞理念に立脚して立案されつゝあるもので、南方占領地においてはじめて制定される新しい原住民官吏制度として注目されてゐる、新制度の企圖する主要事項の次の通り

一、複雜かつ非常に強靭な官吏制度の理念を根本から覆し原住民をして眞にジャワの行政に參畫せしめるため率直にして明朗なる制度を設ける

二、官吏制度の簡明を圖るため官吏の階級を高級、中級、初級の三階級に大別し、各階級はさらに數個の等級に分ち、これに從來なかつた一定の官名を賦與し日本の官吏制度と同樣官名と職名とを分離した制度を作る

三、學歷のみを重視してゐた蘭制度の理念を一擲し、學歷を有せざるものでも卓越なる人格識見實務能力を有するものに對しては無限に昇進の途を開き、拔擢任用の制度を擴大し、また學校教育を受けざるため埋れてゐた人材を登用し、普ねく原住民をして新ジャワの行政に參畫せしめるやう官吏任用資格試驗制度を確立する

四、現行の官公吏俸給暫定規則を改訂、官吏の最高俸給額を若干引上げるとともに、日本の如く官名に從つて俸給額に段階を作り合理的かつ簡明なる新俸給制度を設ける、また勤務成績良好なるものに對する增俸制度を確立するほかさらに增俸の据置年限を一般に短縮し、特に下級官吏に對しては可及的にこれが短縮を圖り、さらに日本語に習熟せるものに對しては特別の增俸を行ひ得る制度を設ける

五、家族手當、勤勉手當、年功加俸、物價手當などの制度を確立

六、新しい恩給制度を制定する

七、大東亞戰爭の眞義に徹した新時代官吏を育成するため原住民官吏の錬成制度を確立する

鎭江地區に清鄕工作

【南京八日同盟】參戰中國の三大目標たる生產の擴充、治安の確保、戰時意識の昂揚の達成を目指して登場した國府本年度の清鄕工作は二月一日より展開された蘇東余姚地區にひきつゞいて鎭江、丹陽、金壇、揚中の四縣を含む鎭江地區第一期工作を展開することになり、すでに一切の準備を終つて一日より中國側軍警を中心とする本格的工作を開始したが、同地區清鄕工作主任李秉氏は七日鎭江に到着、今後の工作一切を指揮することになつた

しかして同地區は總面積二千九十三平方キロ、人口約百萬を擁して、長江三角地帶の北邊の一環を形成する豐饒地帶に位する

防空、防火、爆風除に鐵兜及防毒面併用の出來る 防火覆面

●金六圓三十錢(改良形) 送料廿五錢 御註文は總て前金 (舊製品は發賣中止)
本覆面は東部軍司令部及警視廳消防部當局の指導研究に成り內務省の試驗を完了せる防火武裝の主體にして防火防水の化學組織を有する責任製品なり。
(男女共用) (カタログ進呈)
東京青山神宮外苑前(電話青山八九九番) 防火武裝普及本部 帝國防火研究所

日獨海の勇士の交驩 (大西洋の獨海軍基地を訪問したわが潜水艦乘組員と獨海軍の懇親會=海軍省許可濟第一〇一一號) 電送

戰爭方針悉く背馳
米·英·ソと三巴
"戰後經營"で虛々實々

【ストックホルム八日同盟】赤軍の所謂冬季攻勢開始とともに反樞軸陣營の間には俄然戰後經營案が重大なる急務として取上げられるに至つたが、論議の焦點は戰後の經營にかゝつてゐるのではなく反樞軸陣營の立場と戰爭目的とが相對立する緣由たる戰爭を繼續するために戰後經營案を取上げざるを得ないのが實相である、歐洲戰爭の當初においては反樞軸陣營は專ら防衛戰爭に終始したため必ずしも戰爭目的を必要とせず、戰後戰局の推移に伴ひ一九四一年八月大西洋憲章が反樞軸陣營の指導方針として採擇され「亡命各國民に對し戰前の自由を保障すること」が戰爭目的として取上げられるに至つたが、さらに大東亞戰爭の開始に伴ひ米國政府が新な帝國主義を掲げて英帝國の遺產相續を企圖しソビエト政府が戰爭の重荷を一手に引受けてゐるとの見地から東歐洲支配の方針を聲明したため、こゝに反樞軸陣營は寄合世帶の醜態と同床異夢の實情とを暴露するに至つた

アフトン・ブランデット紙のロンドン特派員は亡命ポーランド政權の失地回復要求に關聯し八日「ソビエト政府の强硬態度は同政府が今後獨自の政策を遂行する決意の現はれと見られてゐる、英國政界では以上のソビエト政府の態度に相當懸念してゐる樣子で、今回の問題が英國全體に暗い影を投じてゐる」と報道してゐるが、反樞軸陣營相互間の爭點は多岐にわたり重大な問題だけでもつぎの通りである

一、米國政府が武器貸與法に基く援助を主なる理由とし、かつ印度その他に對する英國の壓領統治政策が大西洋憲章の趣旨に反するといふ表向きの理由で西亞各國をはじめアフリカ大陸における英國の遺產などを口實に老朽艦譲渡の交換として西大西洋ならびに太平洋における英國の諸島嶼軍事基地を取上げようとしてゐる、以上米國政府の意圖に對しては英國大使ハリファックスが最近アメリカン・マガジーン誌に論文を發表し武器貸與法に基く英國からの反對給付を强調し、さらに拓相オリバー・スタンレーの如きはオックスフォード大學における演說で極めて辛辣に米國政府の介入政策を論難した

一、ソ聯が軍事上竝びに人種問題の見地から東歐洲各國の覇向を狙つてゐるのに對し亡命ポーランド政權その他が强硬に反對してゐる、ウクライナ地方その他に關するソビエト政府とポーランド政權との論戰は特に重大問題として目下反樞軸陣營外交の舞台裏で極秘裡に取上げられてゐる樣子だが、ユーゴスラビヤ國內の「遊擊隊司令」で亡命ユーゴスラビヤ政府の陸相ミハイロビッチに關聯しても米英兩國とソ聯との利害對立が著しい、米英兩國政府が反樞軸遊擊戰の司令として同人を支持し八日も英國政府筋では特に聲明を發表し、ミハイロビッチが陸相ならびに遊擊隊司令を辭職したといふ報道は同人を非難してゐるソビエト宣傳機關の一方的捏造に過ぎないとして非難してゐる

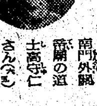
一、米國の國務次官ウエルズならびにニュージーランド公使ナッシュが戰後の政治經濟問題を即時檢討することを主張し、また戰後經營のために反樞軸最高會議を即時設置することを主張してゐるのは一見當局の現狀から遊離した架空の皮算用に過ぎないと見られるが、反樞軸陣營の實情に徵すれば全く戰爭遂行の必要に基く緊迫した要請と解される

ロンドンの週刊エコノミスト誌五日發行の紙上で以上の消息を取上げつぎの通り論じてゐる

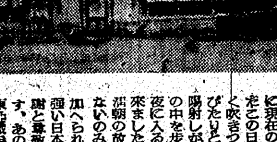
從來英國政府は反樞軸陣營の政治問題について自動的であつたが、今後は特別の責任を帶びるに至つた、反樞軸陣營が異質分子の寄合であり極左から極右に至る廣範圍のあらゆる政治的傾向を含んでゐることは否定出來ない、從つて戰爭目的も相違してゐるために今や反樞軸陣營分裂の危險が著しく高まつてゐるわけだが、かりにルーズベルトが言明した通り反樞軸各國が會議を開かうとも完全な統合戰線が出來るかどうか疑問である

奉天入城式の思ひ出
滿人老道士にきく
"日本軍のあの威容
立派だつた大山元帥"

【奉天九日同盟】"たつた五日前の深夜までどどつと天地を搖るがす砲聲とこの世の最後を思はすやうな銃聲が奉天城壁を搖つて響き渡つてゐたにも拘らずその夜はひつそりと靜まり返つてゐた、その夜から住民達は三々伍々と今や戰ひ終つて日本軍の神聖な軍規のもとに治安の全く回復した奉天城に押して歸つて來た、馬上豐かに入城した大山元帥の姿は乘つてゐる馬より大きく城門の屋根より高かつた"と奉天大南門外關帝廟の道士高守仁さん(七〇)は既に薄れかけた記憶を呼び返すが如く當時の日本軍の威容を語るのである



神國日本といふ言葉はかねて聞いてゐたが、あの三十八年前の日本軍の嚴正さは、日本軍が入城するまで暴虐の極みを盡した當時のロシヤ軍と較べて神樣と豚の差でした、私達の廟はロシヤ軍の營舍に充てられ、奉天城內はロシヤ將兵の軍服で充たされ、城壁上には露國軍の大砲が幾門となく据ゑられ城の內外には交通巡警の代りにコザック騎兵が絕えず巡邏してゐた、一般市民は恰も露軍の雇人のやうにこき使はれ、女子供は綠鬼が來たと逃げ隱れたものです當時のロシヤ軍は青い服を着てゐました、大山元帥の入城式といふので十五日拂曉から住民は歡迎の日の丸の旗をもつて大南門に集つたのです、午後三時ごろ元帥は血色のよいあの大きな姿で靜々と馬を進めて來られました、入城して來た兵士達はどれもが黑い顏に髭ばうばうで肥えたロシヤ兵に較べたら半分の背丈しかなかつたが、武裝々しかも勝ち誇る色もなく大南門から小北門へ拔けて城外文官屯にその夜は幕舍をはつて宿營、元帥は幕僚と共に現在の城內警察署に入つたこの日は五日前から物凄く吹きつのつてゐた蒙古風もぴたりと止んで麗らかな春の陽射しが照り映えてゐた、その中を步兵、騎兵の各部隊は夜に入るまで續々と入城して來ました、神國日本の軍隊は滿朝の故宮、廟を何一つ汚さないのみか、逸早く保護さへ加へられ、我々道士達は武に强い日本軍に今さらながら感謝と尊敬の念を抱いたものです、あの神兵達の孫達が今大東亞戰爭に再び起つて戰つてゐることを思ふと神國日本の完勝を信ぜずにはゐられません



【寫眞=入城の夜の大山元帥の宿舍、現在の城內警察署=人物は語る高道士】

太平洋上の飛石
米基地の奪還を豪語

【ブエノスアイレス七日同盟】太平洋の相次ぐ敗戰にも拘らず米政府は日本々土攻擊の進攻路として太平洋島嶼の奪還を豪語してゐるが、ワシントン來電によれば米海軍分科會委員長ウオーレン・マグヌソンは七日同分科委員會の席上烏滸がましくも米は戰後に太平洋において一連の基地を建設する意向であると次の如く述べた

海軍分科會は戰後太平洋において一連の『飛石』基地を建設する意向で、現在すでに右問題を調査してゐるが、國務省ならびに海軍省に協力する旨の確約を與へてある、これら基地の島嶼を如何にして手に入れるかは別に心配する必要はない

土大統領就任宣誓

【イスタンブール八日同盟】トルコ國民議會は八日大統領に當選したイノニュー氏は直ちに議會に赴き同國憲法に從つて大統領就任を宣誓した、議會は十五日まで休會に入るが、慣例によりサラジヨグル氏を首班とする內閣は一旦總辭職した

諄々と說く"農民道"
小磯總督 忠南視察第二日

【公州にて小山田特派員發】忠南道視察第二日目の小磯總督は九日午前九時儒城の宿舍儒鳴館を出發、直ちに道立儒城農民道場を訪れ、道場事務所で高根場長から狀況報告を受け場內の農舍、豚舍、畜舍など各種施設を視察した後去る一月入所したばかりの生徒六十名を前に「農業は國の大本である、人間の仕事で食ふことが一番切實且つ重要な問題だ、農に從事してゐるものは身體は壯健で精神も立派である、また農民は國家の中堅である、諸君は中堅青年とならねばならぬ、こゝで農民道を十分體得して部落の上は自分の部落のものゝ中心となつて指導して行かねばならぬ、そして食糧增產に邁進するやうに」と約十分間にわたり懇ろに訓示を與へ若い生徒達を心から感激させた、これに對し高根場長の發聲で生徒一同農民道の歌を高唱して答辭に代へ農民道の錬成を總督の前に誓つた、十時農民道場發同五十分公州女子師範學校着、中屋校長以下職員生徒の出迎へを受け、校長室で校長から生徒の訓育狀況を聽取、職員生徒を前に「國家興隆の基は正に國民教育の完成如何にある、私の全生涯を通じて最も感銘深いのは小學校時代の先生の指導教化である、人間にとつて精神教育は一番大事である、しかして精神教育の指導方針は教育勅語にありその實體は皇運扶翼にある、貴女方に小磯がお願ひしたいのは、自らこの皇運扶翼の道を體得して立派な先生になり、兒童教育に當つては立派な男と女をつくりあげるやうに努力して欲しい、第二には貴女方が將來本當に立派な婦人になつて貰ひたい、この學校の訓諭にも貞烈堅固なる婦德の修錬といふことが揭げてある通り立派に十分婦德を磨き單に教師としてでなく將來は家庭の主婦となり立派な子を育てて貰ひたい、それが國家が諸君に要請する大任務である」と優しく訓示した、かくて正午公州郡廳着、同郡守以下官民有力者を接見後、同郡守から管內狀況を聞き、公州發成歡牧場へ向つた

新學士院會員

【東京電話】考古學の泰斗として著名な東京帝大文學部教授原田淑人氏は八日附をもつて學士院會員を仰付けられ左の如く發令された

原田淑人
帝國學士院規定第二條により勅旨をもつて、帝國學士院會員仰付けらる

總督府辭令
(二月廿六日)

公立中學校教諭 外村捨造
任公立中學校教諭(七等) 細平堅
第一公立中學校教諭

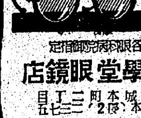
(三月八日)

同 旅順工科大學教授兼京城帝國大學教授 藤野友一
任京城帝國大學教授兼旅順工科大學教授

秘務監督局副事務官林鐘秀、同松島元雄、司稅官金角宗臺依願免本官(各通)

消息

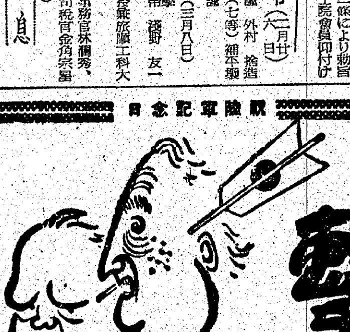
◇白石宗城氏(日窒常務)九日「あかつき」で歸城
◇恩田眞六郎氏(朝鮮商議會頭)同上
◇齋藤久太郎氏(齋藤合名社長)同上
◇山口重政氏(殖銀理事)十四日咸鏡南北道へ出張二十日歸任の豫定
◇杉山茂一氏(京城商議理事)十四日北鮮へ、廿三日歸城豫定
◇松田儀三氏(京城府主事西部出張所長)新任挨拶のため九日本社來訪

銃後ノ護リ 眼ノ護リ

各眼科病院指定 大學堂眼鏡店 京城本町二丁目 電本②五七三

富士寫の精鋭

FUJI KOGAKU J型 セルフタイマー付 ライラフレックス F3.5 ¥289.00 ケース ¥14.16
全國有名寫眞機店にあり カタログ進呈 要郵券四錢
富士光商事株式會社 東京・銀座西六丁目

擊ちてし止まむ
NISSEN ポレオン錠「日染」
ポレオン錠「日染」は內服により血液、體組織へ殺菌性、抗菌性を賦與し病源菌を殺滅し治癒せしむるを特徵とする純正化學療法劑なり。
適應症 流行性感冒 扁桃腺炎 中耳炎 婦人科疾患 化膿性疾患
10錠・100錠
製造發賣元 日本染料製藥株式會社 大阪市此花區春日出町
一手販賣元 株式會社 招商店 大阪市南區

陸軍記念日

擊ちてし止まむ
●陸軍記念日標語の詔句は、古事記、神武天皇、長髓彥を誅せらるゝの條に次の如く記されてゐる。然後將擊登美毘古を擊ちたまはむとし時の歌曰「みつみつし久米の子等が粟生には韮一莖其根が莖其根芽つなぎて擊ちてしやまむ」我が陸軍の大業に必滅の闘志をのべさせ給ふたものである。
クラブ齒磨本舖

タナベ 女性強壯!
新強力ホルモン合成
內服で效果正確…… 女性ホルモンの缺乏に基く… 更年期障礙、生理變調 …の治療に用ひて、內服で正確強力な卵胞ホルモン作用を發揮!、その效果の發現速きを賞讚される。
一錠…三千國際單位 エスチモン
株式會社 田邊五兵衞商店

陸軍記念日

擊ちてし止まん
一億敢鬪 銃後も火線を衝く意氣で!
胃腸に 頭痛に 疲勞に 慰問 要藥 仁丹

聖地に於ける自轉車錬成部隊の訓練（上）と勤勞奉仕作業＝扶餘にて松岡特派員撮影

武裝姿も颯爽と 踏む鐵脚、送る歡呼
自轉車部隊勇躍扶餘を出發

【扶餘にて大山、中村兩特派員發】白線きらめく出發點に百十二名の若人が赤襷の武裝も凛々しくしつかとハンドルを握りしめて進發を待機してゐる、春の旭に輝いて血氣溢れる顔と顔は、いま歐米目掛けて進擊せんとする皇軍機械化部隊を偲ばせる、出發合圖の旗がサツと下れば第一班の鐵脚分隊平南が脱兎のやうに飛び出す 本社朝鮮青年團、朝鮮體育振興會共催の徴兵制實施記念全鮮青訓生徒隊朝鮮神宮開武錬自轉車部隊錬成大會行軍競走がつひに九日午前九時總督府扶餘中堅青年修錬所前を出發、こゝに感激的な火蓋を切つたのだ 續いて慶北、京城府と第一分隊が卅秒置きに出發また二分置いて第二班全北、慶南、全南、第三班京畿、黄海、忠北、第四班慶北、忠南、江原、第五班咸南、咸北の順に出發、朝鮮神宮間二百四十八キロを結ぶ壯途へ乘出す、瞬く間に颯爽たる銀輪の隊列は一キロ半の丘道を突き抜けて扶餘の町に出た、國民學校生徒が、青年隊が、青訓生が早くも旗を打ち振り〳〵邑民、愛國班も沿道に堵列してそつくりで輝かしき出發に歡呼の嵐を浴びせる、見よ、この意氣

この闘魂、肩に擔ぐは銃と背嚢、しつかと結んだ戰闘帽の顎紐も勇ましくそれ〳〵八名宛一道一分隊が一團となり歡呼激勵を浴びてひたむきに前進する、これぞ銃後青年機械化部隊の進擊だ、大いなるこの朝鮮一體の聖郷扶餘山は早春の空に清く澄み徴兵制に沸き上る半島若人の逞しき姿を微笑むやうに見下してゐた

早くも論山突破

【論山にて大山、中村兩特派員發】九日午前九時扶餘を出發した自轉車錬成部隊は早くも十時七分四十秒平北が先頭を切つて第一關門論山に突入、これに次いで平南、慶南、全南、黄海、忠北、忠南、慶北、江原、京畿、咸北の順で滑り込み咸南、京城、全北はやゝ遅れて十三道、京城府全代表は無事論山通過第二關門大田へ向つたが大會場の雰圍氣既に錬成競走は鎬を削つて沿道に沸き上る感激のとゝもに錬成の春は沸き立つてゐる

ジヤワ戡定記念祝賀大會

【ジヤカルタ九日同盟】戡定一周年を記念して一日から全島一齊に多彩な祭典絵巻を繰展げた新ジヤワ祭最終日の九日、ジヤカルタ特別市では午前九時半ガンビル廣場に軍定中央祝賀大會を開催、軍最高指揮官、軍政監はじめ皇軍各部隊および軍政監部、一般邦人、原住民、華僑、アラブ人等數萬が參集宮城遙拜、英靈に對する默禱についで大會委員長中山總務部長挨拶ののち最高指揮官、軍政監の訓辭があり、原住民、華僑代表からそれぞれ祝辭を述べ最高指揮官の發聲で萬歳を三唱、大會を終つた、正午からは同廣場で駐屯各部隊の演習、學生の分列式、吹奏樂隊野外演奏が行はれた

定員の大增加 佐藤京城醫専校長歸來談

【釜山電話】官制改正に關し折衝のため東上中の京城醫專校長佐藤剛藏氏は九日〝あかつき〟で歸任したが機上で次の如く語る 東亞共榮圏諸民族の保健衛生を確保するためには大量の醫學者を必要とするので、文部省並に企畫院に於てこれが養成機關の擴張強化に關し研究してゐたが、その一部が今議會を通過實現することになり、京城醫專も現在の定員八十名を明年度から百五十名に增加することになつた、大邱、平壤兩醫專並に京城女子醫專もそれぞれ相當數の定員が增加される、內地側は前橋醫專が官立になり、鹿兒島、名古屋、福島の三ケ所に縣立醫專が認可された、朝鮮の一ケ所增設案はまだ確定せぬが、出來るとなれば北鮮地方にもつて行くのではないかと思ふ

聖地に蘇る先覺
扶餘に王仁博士の碑建立

わが國に論語及び千字文を獻じた朝鮮の先覺者王仁博士の碑は內鮮一體の聖地扶餘南面西籠に建立をみることゝなつたが建碑の義天聽に達し去月廿六日宮內省から金一封御下賜を拜し會長四宮滋賀氏以下全國會員は感泣してゐるが幹事長山形八堂氏はさる五日來城、王仁博士碑建設事務所設立と共に四月王仁博士建設地鎭祭執行が豫定されてゐる、石材は內鮮一體を具現して仙台産高さ十八尺、幅七尺の花崗岩を用ひ今秋竣工の豫定である、八日山形氏は半島ホテルで次のやうに語る

十一日扶餘に赴き現地を視察しますが畏くも聖殿下といへども王仁碑建設御下賜金を賜る聖恩の廣大無邊に感泣してゐます、天恩拜受のさきに來鮮、各方面の援助の下に來る四月地鎭祭を執行しますが內鮮一體と皇民化運動には京城の皆樣方の一層の御援護を希望致します

お古で得意に
決戰進學の春を覗く

決戰下に相應しい學徒としての質素なかつ質實な生活を營むためには〃欲しがりません、勝つまでは〃の心構へをがつちり固めさせなければならないと男、女中等學校生、初等校生徒を持つ一般家庭への注意が喚起されてゐるが、榮しい進學進級の春を間近に控へてこれら學生々徒の學用必需品に對する生活態度がどのやうな方向を進つてゐるかを學校や街に訪ねて見よう——先づ文房具店では

昔は入學のお祝ひにお父さんやお母さん或ひは親戚の人々へ御褒美の意味で萬年筆の組合せ物や電氣構台、高價なものでは双眼鏡、寫眞機、時計、女の子ではそれに西洋人形などと贅澤な賜り物をねだつてゐる子供もありましたが、この御時世ですから近頃はさういふ事はなくなつたやうです、また制服以外に新しい洋服や着物などを注文する人も多少ありましたが、いまはなくなりこゝにも戰時下の頼母しい氣構へが窺へます、制服の注文はそれ〳〵學校出入りの店に毎年一定量があつて心配なく行き渡る筈ですが兄さんや姉さんのお古を間に合はせてゐる人もあるのはなか〳〵結構なことです、その外のものもなるべく間に合はせてゐるのかこの時期に特に目につく賣出るものはありません、進學期だからといつて現在百貨店には全く影響はないといへます

また師範附屬國民校では

近頃は學生の戰時生活もなかなか徹底して他人が持つてゐるのを欲しがつたり羨んだりするのは全然見掛けません、鉛筆やクレオン繪具などいま特に不足してゐますから、短くなつたのをすぐ捨てずに使へるだけ使ふといふ立派な心掛けのものが多いです、學用品は商店から學校に直接配給されて生徒の手に渡るのですが紙のやうにあつたり落書きするものは皆無といつて好いでせう、お習字するのにも半紙は勿體ないと自發的に水書草紙といふ便利なものを利用してゐるやうです、往服

あす第卅八回陸軍記念日
擊ちてし止まむ
全鮮に展ぐ多彩な行事

〝擊ちてし止まむ〟の決意のもとに迎へる光輝ある第卅八回陸軍記念日は明十日に迫つた、半島が負荷せる國防の重責は何を措いても軍需增産への必勝態勢の完備と晴れの徴兵制實施に備へる完璧の準備である、擊ちてし止まむの合言葉に盛り戶毎に國旗を揭げ卅八年の昔われらの先人が拂つた偉業を普を再びわれらの胸に刻み殲滅の突擊に躍り熱血を沸からせるのである、この日半島では總聯主催の『全鮮國民總決起大會』を京城府民館に開催して增産に一大拍車をかけるのをはじめ記念講演會、展覽會、本社主催の扶餘朝鮮神宮武錬青訓の銀輪走破、米英擊滅講演會など多彩な軍國譜を盛つた決戰士氣の昂揚に半島の力強く逞しい姿を誇示することとなつてゐる

十八年度新設
農業學校に重點
十七校の地域決る

總督府では農業朝鮮の全面的進展を期して十八年度全鮮に亘り中等學校十七校を新設することになりこれが新設地域を決定、慶南釜山中學ほか八校の四學級增加と合せて來る四月から開校を見ることとなつた、新設校は中學三、高女五、農業六、工業、女子實業各一校で、特に農業學校の新設に重點を置いたことは朝鮮における農業經營の向上發展の上から大いに注目される、新設校名並に學級增加校名は左の通り

新設校 ▲慶北＝浦項中學▲平南＝江南中學▲咸南＝北青中學▲忠南＝江景高女▲全北＝井邑高女▲平南＝順天高女▲慶北＝榮州農業▲黄海＝安岳農業▲平北＝楚山農業▲咸南＝端川農業▲黄海＝黄州工業▲慶南＝新當高女▲平北＝定州農業▲京畿＝議政府農業▲忠北＝堤川農業▲忠南＝瑞山農業▲京畿＝安城女子實業

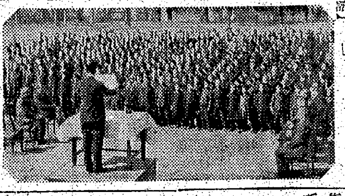
學級增加校 釜山中學、鏡城中學、京畿高女、淑明第二高女、光州大和高女、春川高女、晉州農業、清津商業、清津工業

參戰記念日 國府領事館で擧式

歷史的な國民政府參戰記念日として半島在住六萬華僑は各地で盛大な記念式を行つたが京城では午前十時から京城總領事館內漢城小學校庭で林總領事以下府內在住華僑團體、有志者、學生ら六百名が參集、京城で最初の

關東軍記者團、報道演習より歸還

【新京八日同盟】關東軍報道部では戰時報道の完璧を期すべく二月下旬およそ二週間にわたり酷寒季において北部滿ソ國境に報道演習を實施、大東亞戰爭下北邊鎭護に黙々挺身する關東軍將兵の勞苦を報道、國民に多大の感銘を與へたが、さらにその成果昂揚のため三月下旬北滿○○方面に內外各社在來記者の精鋭を選つて劃期的な報道演習を展開機動に運營し戰時報道の活動報を得てこのほど新京に歸還した



南方行きの軍屬を募集

烈たるわが南方の戰果と目覺しい復興開發に國民の渡南熱はいよ〳〵旺盛となつてゐるが、この熱望に應へ朝鮮軍では南方諸地域勤務の軍屬を次の要領で採用することとなつた ◇職員（資格）中等學校以上の卒業者で廿二歳から卅五歳までの男子◇雇傭（同）高等小學卒業で十八歳から卅二歳までの男子◇給仕（同）國民學校卒業者で十六歳から廿歳までの男子、採用されるものは雇員、傭人、給仕の三種で待遇は本俸のほか相當額の手當が支給され、衣食、住とも官給である、志望者は履歴書、戶籍謄本、身許證明書、寫眞を添へ來る十五日までに朝鮮軍兵務部宛に提出されればよい、なほ廿五歳未滿の志望者は必ず父兄の同意書を添へなければならぬ、また本籍地が遠隔で戶籍謄本取寄せに日數を要するものは十五日までに履歴書と寫眞を添へて申し出る便宜が與へられてゐる

〝洩れなく…〟 個人所得税の申告は十五日まで

決戰だ！揃つて納税奉仕だ——と米英擊滅征戰完遂のためには一億が擧つて納税の義務を完全に果さねばならぬ秋、本月は十八年度個人所得税の申告期であるが、八日池田京城税務署長は納税義務者に對して洩れなく期日十五日までに申告するやう『所得税の申告に就いて』左の如く注意を促した

個人所得税令では第三種所得について個人に歸屬する總ての所得を綜合し一年の所得が五百圓以上になる場合は課税されるのです、所得税は申告税であり各人の誠實なる申告に基いて賦課するのが理想ですが、從來の申告狀況を觀ると期限內に申告をした人は決定人員の四割位で誠に遺憾に堪へません、昨年までは各納税者に申告用紙を郵送したのですが本年は各町會を通じ愛國班から申告用紙を配付するやうにしましたから昨年中の所得五百圓（同居家族分合算）以上となる見込みの人は洩なく誠實な申告を左月十五日迄に直接税務署へ提出されるやう希望します、期限內に申告をしない人は家族扶養控除及び生命保險料控除の恩典に浴すことが出來ず餘計な税金を拂はねばならんから注意を願ひます、なほ愛國班から用紙が届かない人は愛國班に申し出て餘分のないときは京城税務署に申出て配付を受けて下さい

レントゲン科 坂井小兒科

奧村中將告別式

【大阪電話】偉勲赫々たる大東亞戰に散つた海の勇將故奧村信一海軍中將の告別式は八日午後二時半から大阪津村別院で嚴かに執行され、小林海軍大將、田村監督長、大石海軍人事部長、後宮中部軍司令官、谷中將、關大阪師團長、木村造兵廠長の諸將星、南部府知事、片岡府會頭、吉田住友總務理事、バアルザー瑞西國總領事など名士多數參列、盛儀裡にも盛儀であつた

ヤルビンネン選手死去

【ヘルシンキ八日同盟】運動選手アキレス・ヤルビンネン(三)は事故のため七日死去した、享年三十七、同人はアムステルダム並にロスアンゼルスのオリムピツク大會に出場十種競技に氣を吐いた

御斷り 『後三國志』原稿未着につき休載 『高段者勝拔戰』と共に休載

易學院講座 遠藤隆吉先生監修 文學博士 巣園學舍出版部

けふの市況（九日）
株式 軟弱 買氣振はず

前場 南太平洋水域におけるわが海軍部隊は敵潜水艦四隻を擊沈、敵機百廿四機を擊墜破の戰果を收めたがその間わが方もまた巻き犠牲を出してゐるのである、南太平洋戰局の現段階こそ決戰に次ぐ決戰の連續で、戰力の增強はとくに航空戰力擴張は緊要である、これを反映して航空工業は昭和飛行機、立川、國際航空などは堅調を示し、その他は三菱重工、兵器、發動機など五十錢乃至一圓安、地株では小林、東洋輕金一圓方安、岩村、朝鮮水力は大勢に拘らず存外堅りを呈し、一二圓方續落ある川南、川崎は一、二圓方續落した、なほ短期は新東八十四圓七十錢と四十錢方引弛み、新鐘七十五圓と二十錢安、高周波四十九圓三十錢とさらに四十錢方續落した、しかし引際は全般的に落つき模樣を呈し、川南工業その他時株の二三銘柄は若干引戻した

後場 （下文へ）下値には下げ餘地乏しとする追隨思ひの買物あり、時局重要商業株を中心に下支へ模樣を示した

【實物】弱保合

さすがの物色買人氣も漸く買疲れの連續となり行掛りの傾向のあるものには利喰ひ急ぎとへも賣分的な投物も散見されて大體弱保合を示した、しかし大勢は依然樂觀論されてゐるので目先深押しはあるまいといはれて人氣さへ落つけば買氣は再燃するものと思はれる、主なる出來値左の如し

川南工業新七七、五〇ー七、〇▲高周波四九、二ー三▲岩村五〇、二ー五、三一、〇▲熊河一五、三一五、〇▲小林七四、九

株式（九日） 朝取短期

銘柄	前場寄	引	高	安	後寄
朝新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高周波	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小林	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
龍工新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岩村	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝場	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

前場大引 一〇・三三分

朝取清算定と日歩

銘柄	算定	日歩	代引
朝新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小林	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岩村	[illegible]	[illegible]	[illegible]
マグネ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高周波	[illegible]	[illegible]	[illegible]

短期 七・四二〇枚 累計 二九六二・八四〇枚

大株短期

銘柄	前寄	引	高	安	後寄
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三菱重	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戶鋼	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株短期（第一部）

銘柄	前寄	引	高	安	後寄
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重工	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鋼管	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株長期 / 東株短期喰合 / 大株短期喰合

前場大引 一一・〇三分

現株仲値（九日十一時調）

投資信託の野村 野村證券 京城府黄金町二丁目 電話本局三八五一

東亞證券 株式會社 短期現物 朝取一般取引員 京城黄金町二・電話代表本局五一六一

短期 現株 吉村取引店 電話代表本局②8101 京城黄金町二丁目

有價證券現物賣買 源 山本源作商店 京城府明治町一丁目 電話代表②五一九一番 滿洲山源證券株式會社 奉天加茂町八號 朝取一般取引員

扁桃腺炎 中耳炎に アルバジル錠 山之内製品

精力強進劑として卓拔なる効果を發揮する！ クニトン 茸參 祐會式株藥製堂善惠

俺の墓に奴等の生膽を供へて呉れ
かういふ悲壯な言葉を遺して死んだ戰友がある。
生死を超越した戰ひに決つて行くのが武士道とする皇軍をして、かくも憎惡と怨恨とに満ちた最期の言葉を吐かしめた敵兵の殘虐な所業を聞いて、誰が滿腔に湧返る憤怒を禁じ得ないではないか。
今この敵が我々の前に立ちはだかつて、日本の自存自衛を脅かすどころか、我々一人一人の息の根を止めようと企てゝゐる。
彼等に屈服してはならぬ。我々は三千年來の輝かなる歴史を守護しつゝ一因ちに敵の生膽を挫る絶叫の叫びを上げよう
ロート目藥本舗・山田安民藥房

募集 生徒 大成女子商科學院
京城中等學院 生徒募集
▲募集人員第一學年約六十名二年補缺若干名▲出願期限三月二十八日補缺三月二十五日 京城商科學校

二田原株式店現物部 材料含みの日立と大阪製鎖 京城黄金町二ノ一九九 電話本局代表一五七〇

看守募集 一、志願資格 二、志願方法 三、採用試驗 四、其ノ他 朝鮮總督府刑務官練習所

琴、三紘、師匠

第卅八回陸軍記念日 擊ちてし止まむ 國民必見の映畫 燒夷彈の全貌を示す一億防空必勝篇『燒夷彈』 同時上映中 濁流 前後篇 燒夷彈 明治座

擊ちてし止まむ！ 大東亞戰史 音に聽く聖戰記錄を繙いて帝國皇軍の勇戰に感謝し併せて敵擊滅の決意を固めよう テイチクレコード

京城女子技藝學院 生徒募集

純力強 男性ホルモン ユーステロン 嚴密なる生物學的檢定を施行し效力を常に一定とせり 老衰、精力減退、高血壓、神經衰弱、肩・腰凝等 植村製藥

リキシン 腦病 頭痛、頭重、のぼせ、目まひ、耳鳴り不眠等はリキシンを服用して原因となる濁り血を淨化すればよくなる 肩の凝り 便秘と酒毒 腦溢血豫防 今津化學研究所